

**第4回（平成28年度実施）**

**高齢者の生活実態と介護サービス等  
に関する意識調査**

**報告書（概要版）**

**平成29年3月**

**大阪府**

# 目次

第1章	調査実施概要	1
第2章	調査結果	3
	基本情報	
1.	回答者の属性	4
	(1) 調査票の記入者	4
	(2-1) 性別	5
	(2-2) 年齢	6
	(3) 住宅の種類	7
	(4) 世帯構成	8
	(5) 市町村名	9
	(6) 障がい者手帳の所持と種別	10
	(7) 要介護(要支援)認定の有無	11
	介護保険	
2.	介護保険サービスの利用状況	12
	(8) 介護サービス利用に対する考え方	12
	(9) 要介護(要支援)認定を受けた理由	13
	(10) 介護保険サービス利用の有無	15
	(11) 介護保険サービスを利用していない理由	17
3.	利用者の満足状況	19
	(12) 介護保険サービス事業者の選定基準	19
	(13) 介護保険サービス利用者の満足度	20
	(14) 介護保険サービスの不満な点	22
4.	負担と給付	23
	(15) 負担と給付についての考え方	23

# 目次

## 地域支援

5. 介護予防	24
(16)病気の予防や健康づくりで心がけていること	24
(17-1)市町村の介護予防事業への参加意向	25
(17-2)参加したい介護予防事業	26
(17-3)介護予防事業に参加しない理由	27
(18)健康づくり・介護予防に対する考え方	28
6. 総合事業	29
(19-1)NPO団体等によるサービスの利用意向	29
(19-2)NPO団体等によるサービスを利用したい理由	30
(19-3)NPO団体等によるサービスを利用したくない理由	31
7. 地域のネットワーク	32
(20)地域包括支援センターの認識度	32
(21)地域のネットワークづくりに必要なこと	34
8. 高齢者虐待防止	35
(22)高齢者虐待に当てはまると思うもの	35
(23)高齢者虐待防止のために必要なこと	36
9. 認知症	37
(24)認知症に対する考え方	37
(25)認知症の人が安心して暮らせるまちにするために	38
(26)成年後見制度の認識度	39

# 目次

## 暮らしの安全・安心

10. 日常生活の状況	41
(27)日々の充実感	41
(28)生きがいを感じていること	43
(29)日々の暮らし向き	44
(30)日常生活上の不安や悩み	46
(31)日常生活で困難を感じているか	47
(32)医療機関にかかる頻度	48
(33)人生の最期をどう過ごしたいか	49
(34-1)自宅で療養しながら最期まで過ごすことができると思うか	50
(34-2)自宅で最期まで過ごすことが難しいと思う理由	51
(35-1)ボランティア活動への参加意向	52
(35-2)ボランティア活動に参加しない理由	53
11. 地域の安全・安心	54
(36)高齢者の支え合いとしてあなたができること	54
(37)住んでいる地域での暮らしの安心	55
(38)日常的に相談できる相手	57
(39)自然災害時の避難	58

## 今後の暮らし

12. 希望する暮らし方	59
(40)希望する暮らし方について	59
13. 施設入所	60
(41)施設入所にあたって重視する点	60

## 今後の施策

14. 重要な施策	61
(42)今後、重要と思う施策	61

# 第1章 調査実施概要

## 1. 調査目的

大阪府に居住する65歳以上の高齢者を対象に、日常の生活状況や介護(予防)サービス等についての意識を把握し、今後の大阪府の高齢者保健福祉施策や介護保険制度の運営に資する基礎資料を得るために実施した。

## 2. 調査設計

- (1)調査地域 府内全域
- (2)調査対象 満65歳以上の府民
- (3)調査対象数 5,610人
- (4)調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5)調査項目 巻末アンケート調査票参照
- (6)調査実施期間 平成28年9月12日(月)～30日(金)

## 3. 回収結果

標本数	不到達 標本数	到達 標本数	回収数	標本数 に対する 有効回答率	到達標本数 に対する 有効回答率
(a)	(b)	(c)=(a)-(b)	(d)	(d)/(a)	(d)/(c)
5,610	29	5,581	3,966	70.7%	71.1%

※不到達: 転居先不明等で返戻されたもの

## 4. 表記などについて

- (1) 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合がある。  
また、複数回答を求めた設問は、回答者数に対する割合を示しているため、合計値は100%を超える。
- (2) 文中に示す「n」は、各設問の回答者数である。
- (3) 本文中の結果の数値は百分率(%)で表しているが、比較などの場合はポイントという表現を用いている。

- (4) 調査結果は、「全体」の構成比と各属性項目の構成比を比較することで、「全体」(平均)との差を把握できる。  
 また、集計表中、濃い網掛けは、全体より10ポイント高いもの、薄い網掛けは、全体より5ポイント高いものである。
- (5) 各属性項目における「不明」の回答は表記していない。
- (6) 属性などにおいて顕著な差がみられない場合は、解説を記載していない。
- (7) 回答数が少ない場合の集計結果については、統計上の信頼性が低いと考えられる場合もある。

**【参考】**

圏域	標本数	有効回答数	構成比(%)
大阪市高齢者保健福祉圏	840	553	13.9
豊能高齢者保健福祉圏	700	490	12.4
三島高齢者保健福祉圏	550	462	11.6
北河内高齢者保健福祉圏	820	564	14.2
中河内高齢者保健福祉圏	560	359	9.1
南河内高齢者保健福祉圏	690	512	12.9
堺市高齢者保健福祉圏	560	374	9.4
泉州高齢者保健福祉圏	890	622	15.7
不明	-	30	0.8
合計	5,610	3,966	100.0

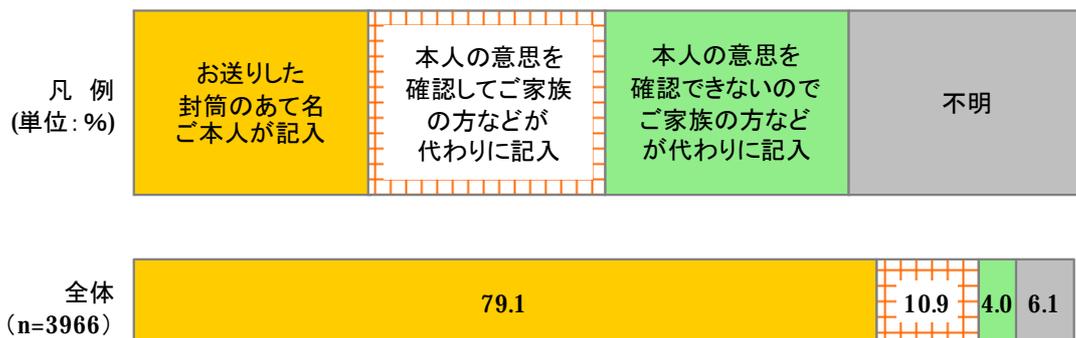
※構成比は、有効回答数の合計に占める割合

## 第2章 調査結果

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問1.調査票の記入者

- I 記入者は、「本人が記入」が約8割(79.1%)、「本人の意思を確認してご家族の方などが代わりに記入」が10.9%、「本人の意思を確認できないのでご家族の方などが代わりに記入」が4.0%であった。
- I 要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「本人が記入」は低くなっており、要介護5では、約7割(72.6%)が「本人の意思を確認できないので、ご家族の方などが代わりに記入」となっている。



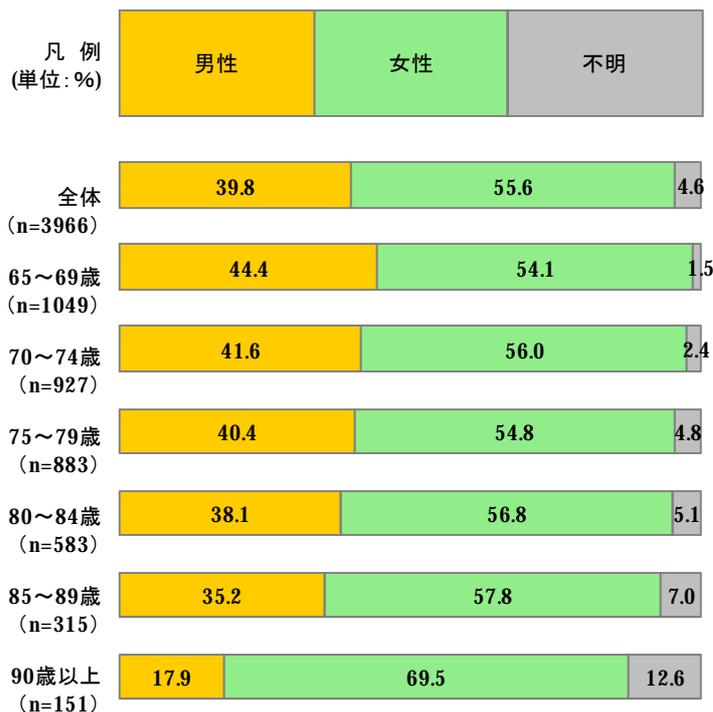
## 問1. この調査票はどなたが記入されますか。

		サンプル数	お送りした封筒のあて名ご本人が記入	本人の意思を確認してご家族の方などが代わりに記入	本人の意思を確認できないのでご家族の方などが代わりに記入	不明
全体		3966	79.1	10.9	4.0	6.1
要介護度	要支援1	218	77.1	12.4	1.4	9.2
	要支援2	172	64.5	22.7	1.2	11.6
	要介護1	132	31.1	48.5	10.6	9.8
	要介護2	138	27.5	50.7	15.9	5.8
	要介護3	95	11.6	43.2	35.8	9.5
	要介護4	52	13.5	38.5	42.3	5.8
	要介護5	62	4.8	19.4	72.6	3.2
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	90.3	5.3	0.4	4.0

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問2- 1.性別

- 性別は、「男性」が39.8%、「女性」が55.6%であった。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど「女性」の比率が高くなっており、90歳以上では「女性」が69.5%を占める。
- 要介護度別では、要介護・要支援認定を受けていない層では「女性」が約5割(53.1%)であるのに対し、要介護5では「女性」が約7割(71.0%)を占めている。



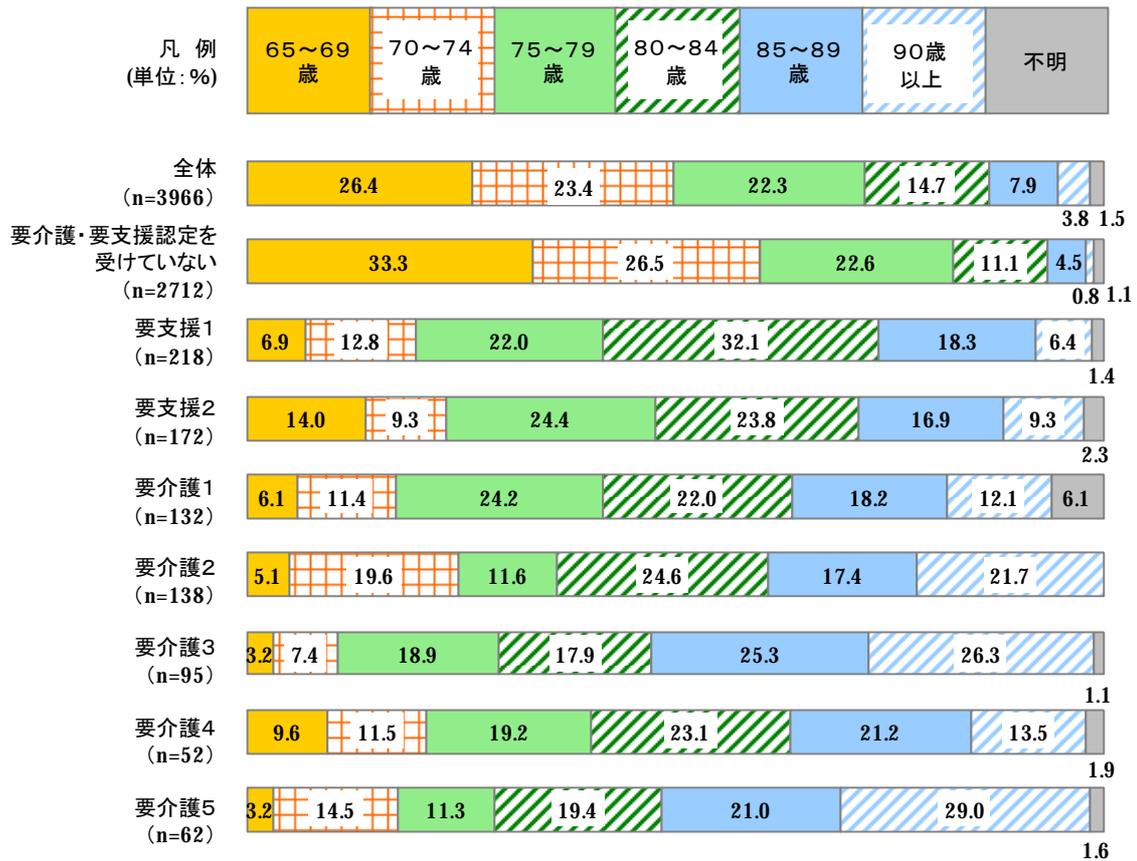
### 問2-1. あなたの性別をお答えください。

		サンプル数	男性	女性	不明
全体		3966	39.8	55.6	4.6
年齢	65~69歳	1049	44.4	54.1	1.5
	70~74歳	927	41.6	56.0	2.4
	75~79歳	883	40.4	54.8	4.8
	80~84歳	583	38.1	56.8	5.1
	85~89歳	315	35.2	57.8	7.0
	90歳以上	151	17.9	69.5	12.6
要介護度	要支援1	218	28.4	64.7	6.9
	要支援2	172	29.7	64.5	5.8
	要介護1	132	30.3	61.4	8.3
	要介護2	138	36.2	53.6	10.1
	要介護3	95	32.6	63.2	4.2
	要介護4	52	42.3	51.9	5.8
	要介護5	62	25.8	71.0	3.2
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	43.4	53.1	3.5

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問2-2.年齢

- I 年齢構成は、「65～69歳」「70～74歳」「75～79歳」はそれぞれ2割台、「80～84歳」は14.7%、「85～89歳」は7.9%、「90歳以上」は3.8%となっていた。
- I 要介護度別の年齢構成をみると、要介護・要支援認定を受けていない層は「65～69歳」「70～74歳」がそれぞれ約3割で合計で約6割を占める。



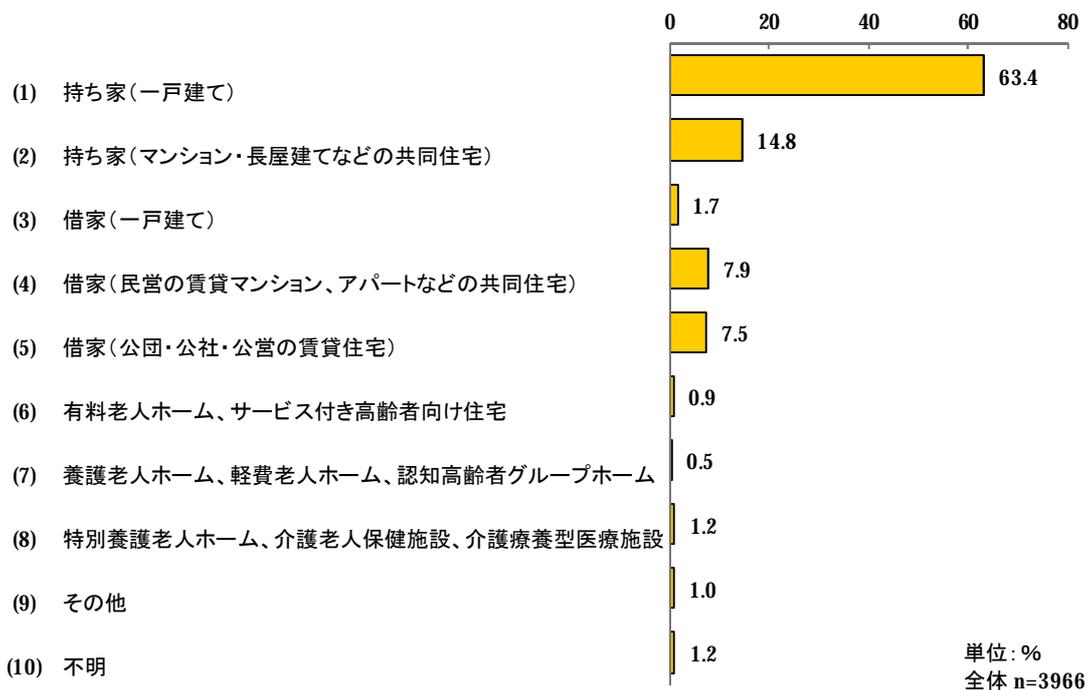
問2-2. あなたの年齢をお答えください。

		サンプル数	65 5 6 9 歳	70 0 7 4 歳	75 5 7 9 歳	80 0 8 4 歳	85 5 8 9 歳	90 歳 以上	不明
全体		3966	26.4	23.4	22.3	14.7	7.9	3.8	1.5
要介護度	要支援1	218	6.9	12.8	22.0	32.1	18.3	6.4	1.4
	要支援2	172	14.0	9.3	24.4	23.8	16.9	9.3	2.3
	要介護1	132	6.1	11.4	24.2	22.0	18.2	12.1	6.1
	要介護2	138	5.1	19.6	11.6	24.6	17.4	21.7	-
	要介護3	95	3.2	7.4	18.9	17.9	25.3	26.3	1.1
	要介護4	52	9.6	11.5	19.2	23.1	21.2	13.5	1.9
	要介護5	62	3.2	14.5	11.3	19.4	21.0	29.0	1.6
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	33.3	26.5	22.6	11.1	4.5	0.8	1.1

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問3.住宅の種類

- I 住宅の種類は、「持ち家(一戸建て)」が63.4%を占める。次いで、「持ち家(マンション・長屋建てなどの共同住宅)」が14.8%、「借家(民営の賃貸マンション、アパートなどの共同住宅)」が7.9%である。
- I 要介護度別にみると、要介護・要支援認定を受けていない層の66.9%、要支援1～要介護2までの約6割は「持ち家(一戸建て)」が占めている。一方、要介護3～5では「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設」や「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅」の割合が高くなる。



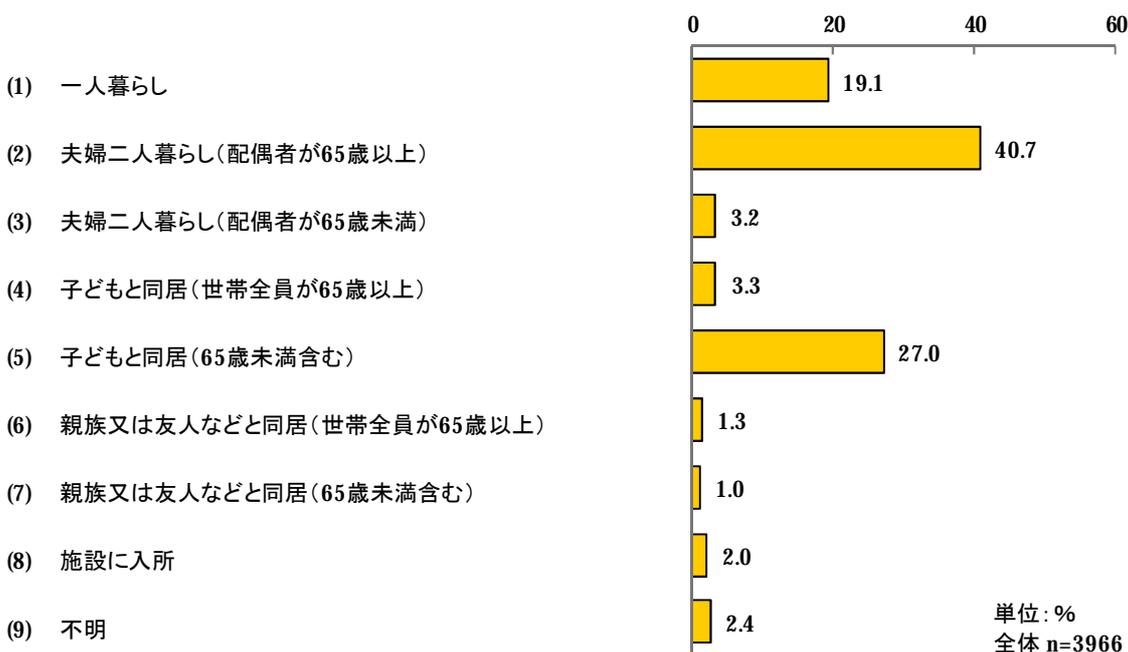
問3. あなたがお住まいの住宅や施設の種類は、次のうちどれにあたりますか。

	サンプル数	持ち家(一戸建て)	持ち家(マンション・長屋建てなどの共同住宅)	借家(一戸建て)	借家(民営の賃貸マンション、アパート)	借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム、軽費老人ホーム、認知高齢者グループホーム	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設	その他	不明
全体	3966	63.4	14.8	1.7	7.9	7.5	0.9	0.5	1.2	1.0	1.2
要介護度	要支援1	218	59.2	15.6	1.8	9.2	9.6	-	-	2.8	1.8
	要支援2	172	57.0	11.0	3.5	15.1	8.1	1.7	0.6	1.7	1.2
	要介護1	132	56.1	12.1	1.5	10.6	8.3	5.3	2.3	0.8	2.3
	要介護2	138	61.6	10.1	1.4	8.7	7.2	5.1	1.4	3.6	0.7
	要介護3	95	48.4	10.5	4.2	6.3	1.1	8.4	6.3	13.7	1.1
	要介護4	52	28.8	7.7	1.9	7.7	9.6	9.6	3.8	26.9	-
	要介護5	62	40.3	8.1	1.6	3.2	3.2	6.5	6.5	19.4	3.2
要介護・要支援認定を受けていない	2712	66.9	16.0	1.5	7.5	7.0	-	-	-	0.8	0.3

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問4.世帯構成

- 世帯構成は、「夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)」(40.7%)、「子どもと同居(65歳未満含む)」(27.0%)、「一人暮らし」(19.1%)の順に上位。
- 性別で見ると、女性の「一人暮らし」の比率が22.9%と、男性の13.4%より高い。
- 要介護度別では、要支援1～2では「一人暮らし」が最も多い。要介護1～2では「子どもと同居」が約4割であるが、要介護3～5では「施設に入所」の割合が増加する。



## 問4. あなたの世帯構成についてうかがいます。

		サンプル数	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	子どもと同居(65歳未満含む)	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	施設に入所	不明
全体		3966	19.1	40.7	3.2	3.3	27.0	1.3	1.0	2.0	2.4
性別	男性	1579	13.4	48.5	6.6	2.4	23.6	1.5	0.9	1.2	2.0
	女性	2205	22.9	35.9	0.9	3.8	29.3	1.2	1.1	2.4	2.4
年齢	65～69歳	1049	15.5	39.5	8.5	2.0	28.2	2.6	1.6	0.3	1.8
	70～74歳	927	15.6	46.9	2.2	2.3	28.4	1.4	0.9	0.5	1.8
	75～79歳	883	20.7	49.0	1.0	2.6	22.7	0.2	0.3	0.9	2.5
	80～84歳	583	22.8	37.7	1.2	2.6	27.6	1.2	0.7	2.4	3.8
	85～89歳	315	28.3	24.1	0.6	6.0	30.2	-	0.6	7.3	2.9
	90歳以上	151	20.5	9.3	-	19.9	27.8	0.7	2.0	16.6	3.3
要介護度	要支援1	218	39.4	31.7	1.8	1.8	20.6	1.4	0.9	0.5	1.8
	要支援2	172	34.9	28.5	0.6	7.0	22.7	0.6	0.6	1.7	3.5
	要介護1	132	28.8	23.5	2.3	6.8	29.5	0.8	2.3	5.3	0.8
	要介護2	138	18.1	30.4	2.2	8.0	28.3	0.7	0.7	8.0	3.6
	要介護3	95	15.8	23.2	2.1	8.4	26.3	-	2.1	21.1	1.1
	要介護4	52	19.2	23.1	-	7.7	13.5	3.8	-	28.8	3.8
	要介護5	62	9.7	17.7	1.6	4.8	25.8	1.6	3.2	30.6	4.8
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	16.2	44.9	4.0	2.5	28.4	1.4	1.0	0.1	1.5

## 基本情報 1.回答者の属性

### 問5.市町村名

I 住んでいる市町村は、「大阪市」が最も多く13.9%。以下、「堺市」(9.4%)、「高槻市」(5.3%)、「東大阪市」(4.9%)、「枚方市」(4.0%)の順に上位となっている。

### 問5. あなたがお住まいの市町村はどちらですか。

	サンプル数	大阪市	豊中市	池田市	吹田市	箕面市	高槻市	茨木市	摂津市	守口市	枚方市	寝屋川市	大東市
全体	3966	13.9	3.7	1.9	3.2	1.7	5.3	3.4	1.8	1.5	4.0	3.0	1.5

	サンプル数	門真市	四條畷市	交野市	八尾市	柏原市	東大阪市	富田林市	河内長野市	松原市	羽曳野市	藤井寺市	大阪狭山市
全体	3966	1.7	1.3	1.3	2.9	1.2	4.9	1.8	2.0	1.8	1.8	1.4	1.6

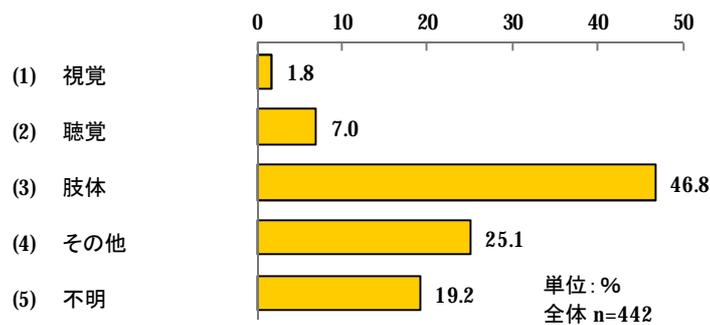
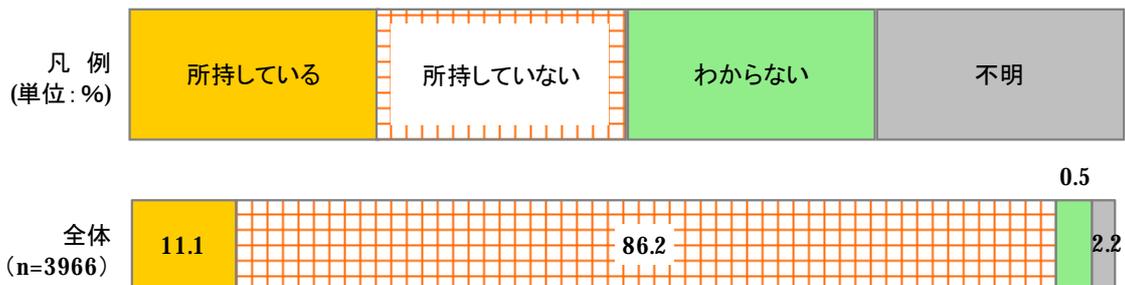
	サンプル数	堺市	岸和田市	泉大津市	貝塚市	泉佐野市	和泉市	高石市	泉南市	阪南市	豊能町	能勢町	島本町
全体	3966	9.4	2.6	1.1	1.2	1.8	1.5	1.3	1.5	1.4	1.0	0.8	1.2

	サンプル数	太子町	河南町	千早赤阪村	忠岡町	熊取町	田尻町	岬町	不明
全体	3966	0.8	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問6.障がい者手帳の所持と種別

- I 障がい者手帳を「所持している」人は全体の11.1%。
- I 障がい者手帳の種類は、「肢体」(46.8%)、「その他」(25.1%)、「聴覚」(7.0%)、「視覚」(1.8%)となっている。



問6. あなたは障がい者手帳等を所持しておられますか。

	サンプル数	所持している	所持していない	わからない	不明
全体	3966	11.1	86.2	0.5	2.2

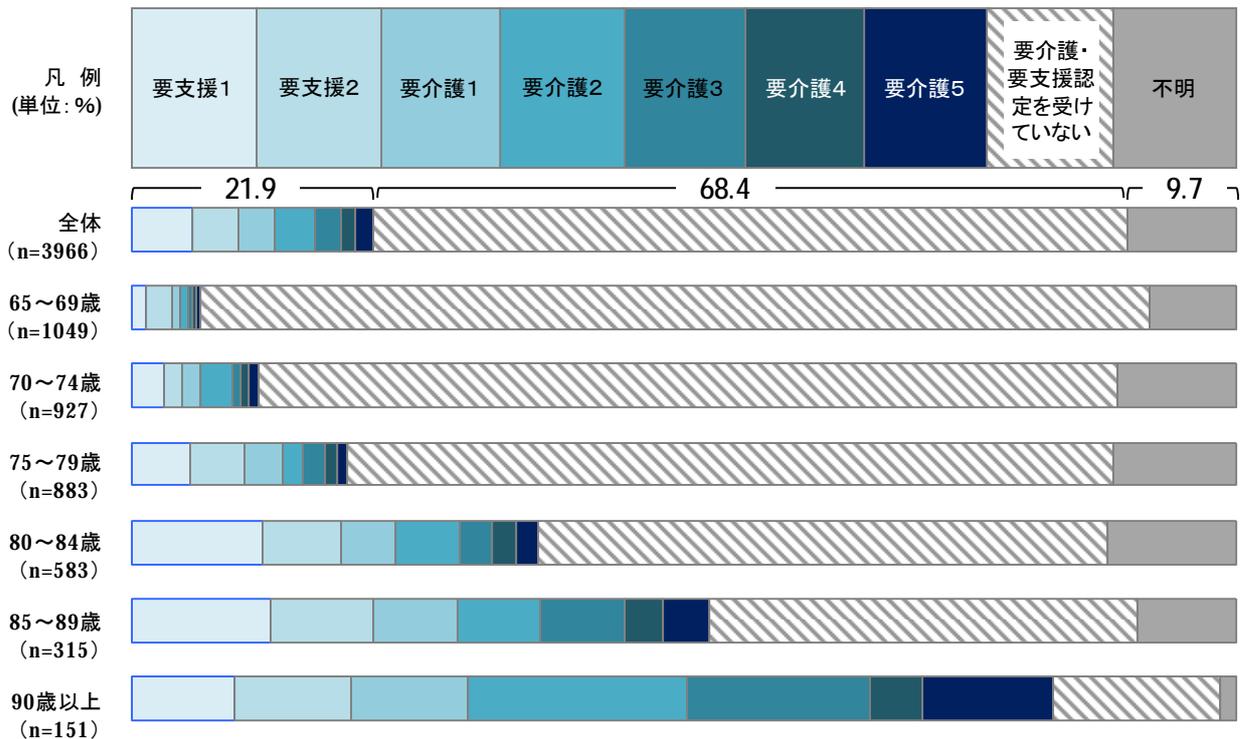
問6-2. あなたが所持している障がい者手帳等の種類をお答えください。(複数回答)

	サンプル数	視覚	聴覚	肢体	その他	不明
全体	442	1.8	7.0	46.8	25.1	19.2

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問7.要介護(要支援)認定の有無

- I 要介護・要支援認定をみると、いずれかの認定を受けている人は、全体の21.9%。受けていない人は68.4%。「不明」が9.7%である。
- I 年齢別にみると、認定を受けている人は、65～69歳では6.2%、年齢が上がるとともに増えていき、90歳以上では83.5%となっている。
- I 世帯構成別でみると、認定を受けているのは、夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)が14.6%であるのに対し、一人暮らしでは31.7%と高くなっている。



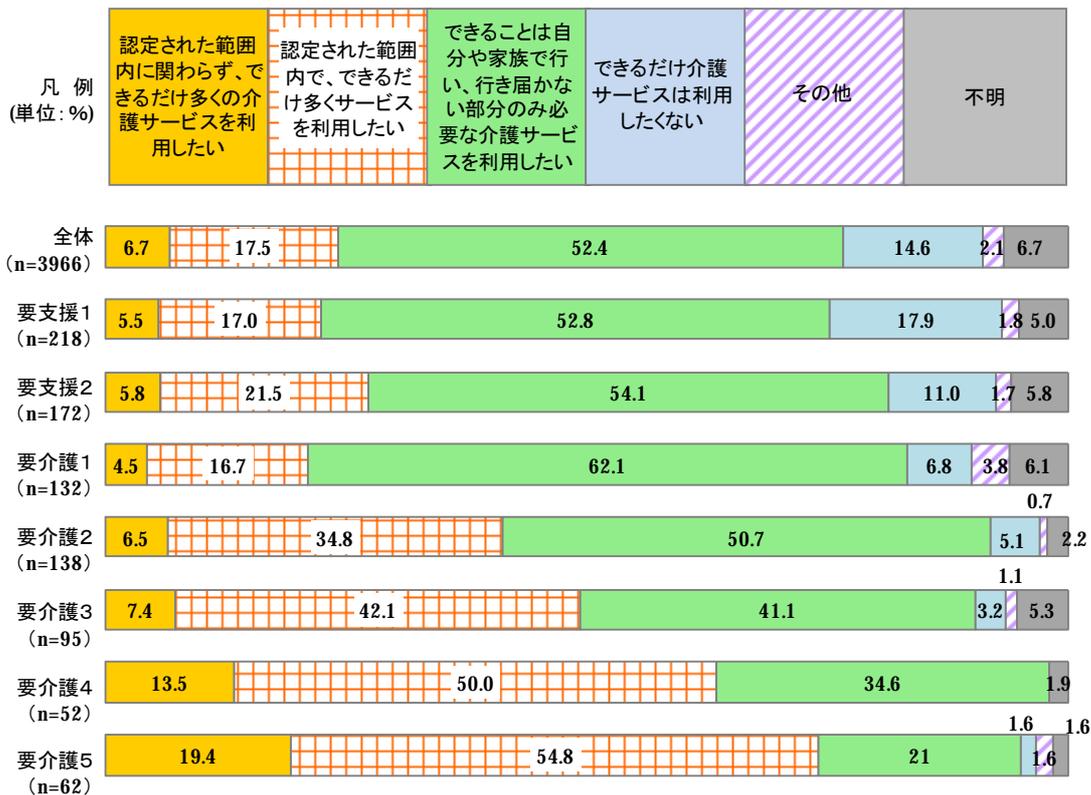
## 問7. あなたは、介護保険制度の要介護・要支援認定を受けていますか。

		サンプル数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護・要支援認定を受けていない	不明
全体		3966	5.5	4.3	3.3	3.5	2.4	1.3	1.6	68.4	9.7
年齢	65～69歳	1049	1.4	2.3	0.8	0.7	0.3	0.5	0.2	86.2	7.7
	70～74歳	927	3.0	1.7	1.6	2.9	0.8	0.6	1.0	77.7	10.7
	75～79歳	883	5.4	4.8	3.6	1.8	2.0	1.1	0.8	69.4	11.0
	80～84歳	583	12.0	7.0	5.0	5.8	2.9	2.1	2.1	51.6	11.5
	85～89歳	315	12.7	9.2	7.6	7.6	7.6	3.5	4.1	38.7	8.9
	90歳以上	151	9.3	10.6	10.6	19.9	16.6	4.6	11.9	15.2	1.3
世帯構成	一人暮らし	757	11.4	7.9	5.0	3.3	2.0	1.3	0.8	58.1	10.2
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1613	4.3	3.0	1.9	2.6	1.4	0.7	0.7	75.5	9.9
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	127	3.1	0.8	2.4	2.4	1.6	-	0.8	85.8	3.1
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	132	3.0	9.1	6.8	8.3	6.1	3.0	2.3	51.5	9.8
	子どもと同居(65歳未満含む)	1070	4.2	3.6	3.6	3.6	2.3	0.7	1.5	72.0	8.4
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	51	5.9	2.0	2.0	2.0	-	3.9	2.0	72.5	9.8
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	39	5.1	2.6	7.7	2.6	5.1	-	5.1	69.2	2.6
	施設に入所	80	1.3	3.8	8.8	13.8	25.0	18.8	23.8	3.8	1.3

# 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

## 問8.介護サービス利用に対しての考え方

I 要支援1から要介護2までの層は「できることは自分や家族で行い、行き届かない部分のみ必要な介護サービスを利用したい」が5割を超えるが、要介護3以上になるとその割合は低下していき、「認定された範囲内で、できるだけ多くサービスを利用したい」の割合が高くなる。



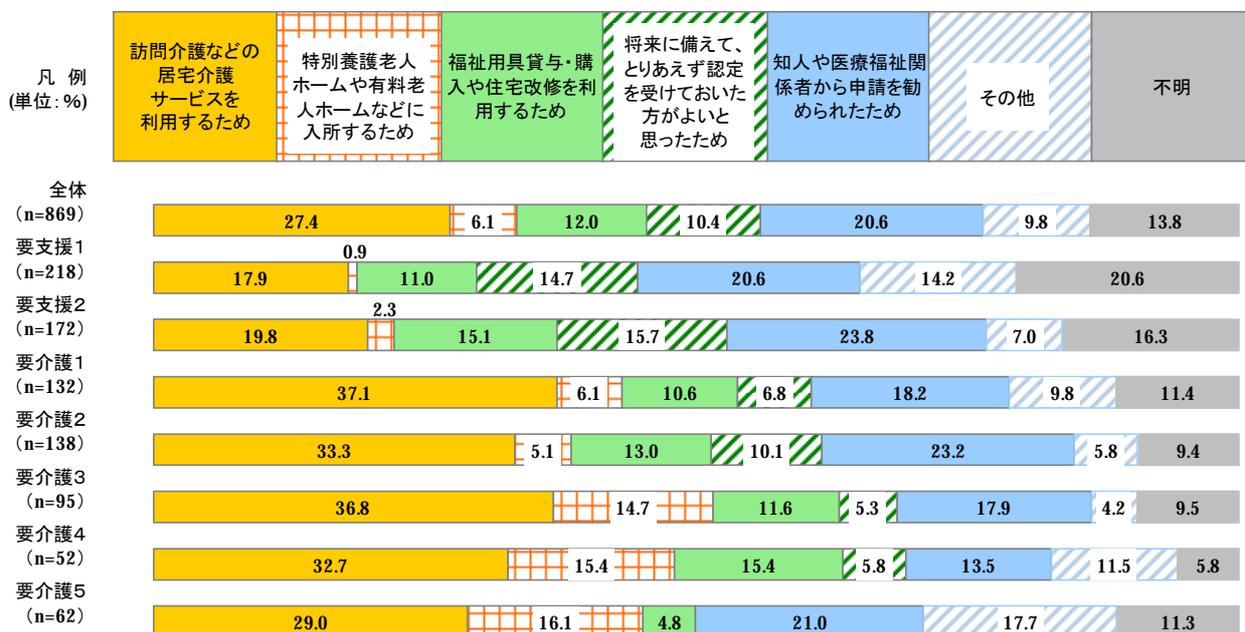
問8. 介護サービスを利用する際のあなたの考え方をお答えください。

	サンプル数	認定された範囲内に関わらず、できるだけ多くの介護サービスを利用したい	認定された範囲内で、できるだけ多くサービスを利用したい	できることは自分や家族で行い、行き届かない部分のみ必要な介護サービスを利用したい	できるだけ介護サービスは利用したくない	その他	不明	
全体	3966	6.7	17.5	52.4	14.6	2.1	6.7	
要介護度	要支援1	218	5.5	17.0	52.8	17.9	1.8	5.0
	要支援2	172	5.8	21.5	54.1	11.0	1.7	5.8
	要介護1	132	4.5	16.7	62.1	6.8	3.8	6.1
	要介護2	138	6.5	34.8	50.7	5.1	0.7	2.2
	要介護3	95	7.4	42.1	41.1	3.2	1.1	5.3
	要介護4	52	13.5	50.0	34.6	-	-	1.9
	要介護5	62	19.4	54.8	21.0	1.6	1.6	1.6
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	6.5	15.0	54.8	15.7	2.2	5.9

# 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

## 問9.要介護(要支援)認定を受けた理由

- I 要介護・要支援認定を受けた理由は、「訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため」が27.4%で最も多い。次いで、「知人や医療福祉関係者から申請を勧められたため」(20.6%)、「福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため」(12.0%)、「将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため」(10.4%)の順である。
- II 要介護度別にみると、要支援では「将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため」が15%前後である。また、「訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため」は要支援では2割弱であるのに対し、要介護1では37.1%まで跳ね上がる。要介護3～5では「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所するため」の割合が15%前後となっている。



問9. あなたが、要介護・要支援認定を受けられたのはどのような理由からですか。  
【要介護・要支援認定を受けている方】

		サンプル数	訪問介護などの居宅介護サービス	特別養護老人ホームや有料老人	福祉用具貸与・購入や住宅改修を	将来に備えて、とりあえず認定を受けた	知人や医療福祉関係者から申請を	その他	不明
全体		869	27.4	6.1	12.0	10.4	20.6	9.8	13.8
要介護度	要支援1	218	17.9	0.9	11.0	14.7	20.6	14.2	20.6
	要支援2	172	19.8	2.3	15.1	15.7	23.8	7.0	16.3
	要介護1	132	37.1	6.1	10.6	6.8	18.2	9.8	11.4
	要介護2	138	33.3	5.1	13.0	10.1	23.2	5.8	9.4
	要介護3	95	36.8	14.7	11.6	5.3	17.9	4.2	9.5
	要介護4	52	32.7	15.4	15.4	5.8	13.5	11.5	5.8
	要介護5	62	29.0	16.1	4.8	-	21.0	17.7	11.3
	要介護・要支援認定を受けていない	-	-	-	-	-	-	-	-

## 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

### 問9.要介護(要支援)認定を受けた理由【経年比較】

- I 今回調査から、「知人や医療福祉関係者から申請を勧められたため」の選択肢が追加され、20.6%を占めた一方、「訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため」は前回の41.1%から今回の27.4%へ約14ポイント低下したものの、引き続き、最多回答となった。

問9. あなたが、要介護・要支援認定を受けられたのはどのような理由からですか。  
【要介護・要支援認定を受けている方】

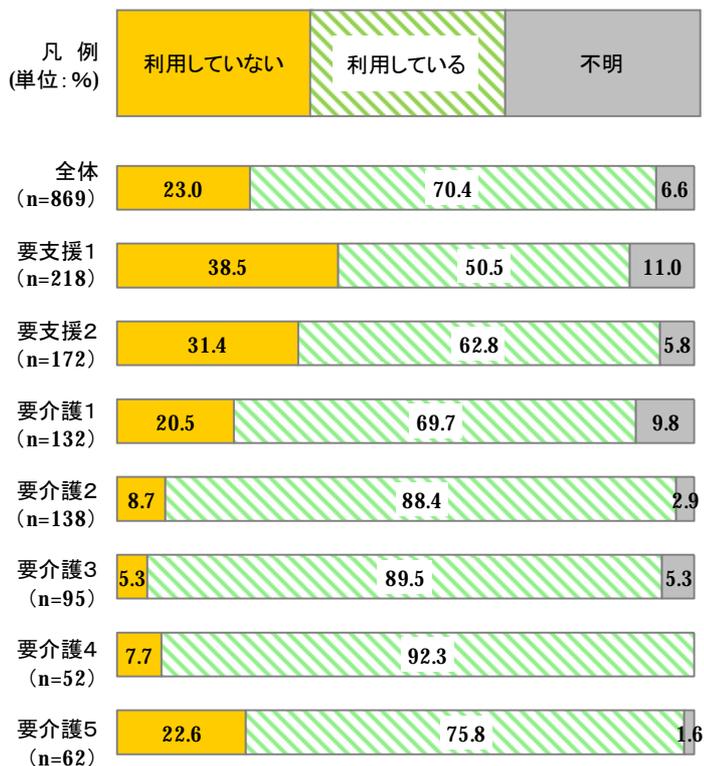


※「知人や医療福祉関係者から申請を勧められたため」は前回は聴取なし

# 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

## 問10.介護保険サービス利用の有無

- I 要介護・要支援認定を受けている方で、介護保険サービスを利用しているのは70.4%。
- I 要支援1では、利用率は50.5%と低めであるが、要介護2～4では、利用率は約9割前後となっている。要介護5になると入院等が増えるためか、利用率は75.8%に低下する。



問10. あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。【要介護・要支援認定を受けている方】

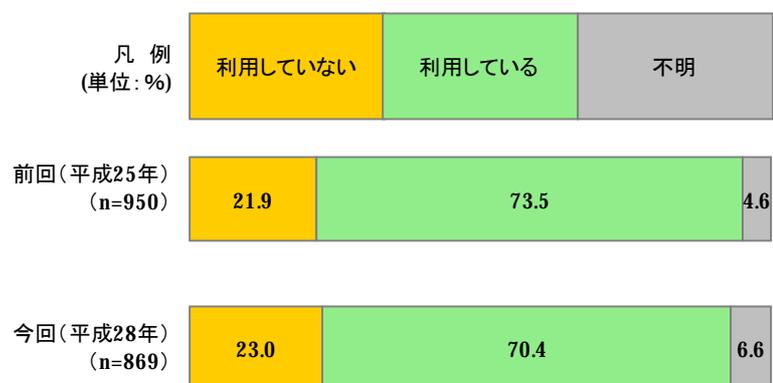
		サンプル数	利用していない	利用している	不明
全体		869	23.0	70.4	6.6
要介護度	要支援1	218	38.5	50.5	11.0
	要支援2	172	31.4	62.8	5.8
	要介護1	132	20.5	69.7	9.8
	要介護2	138	8.7	88.4	2.9
	要介護3	95	5.3	89.5	5.3
	要介護4	52	7.7	92.3	-
	要介護5	62	22.6	75.8	1.6
	要介護・要支援認定を受けていない	-	-	-	-

## 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

### 問10.介護保険サービス利用の有無【経年比較】

- I 要介護・要支援認定を受けている方のうち、介護保険サービスの利用率は、前回73.5%、今回70.4%であった。

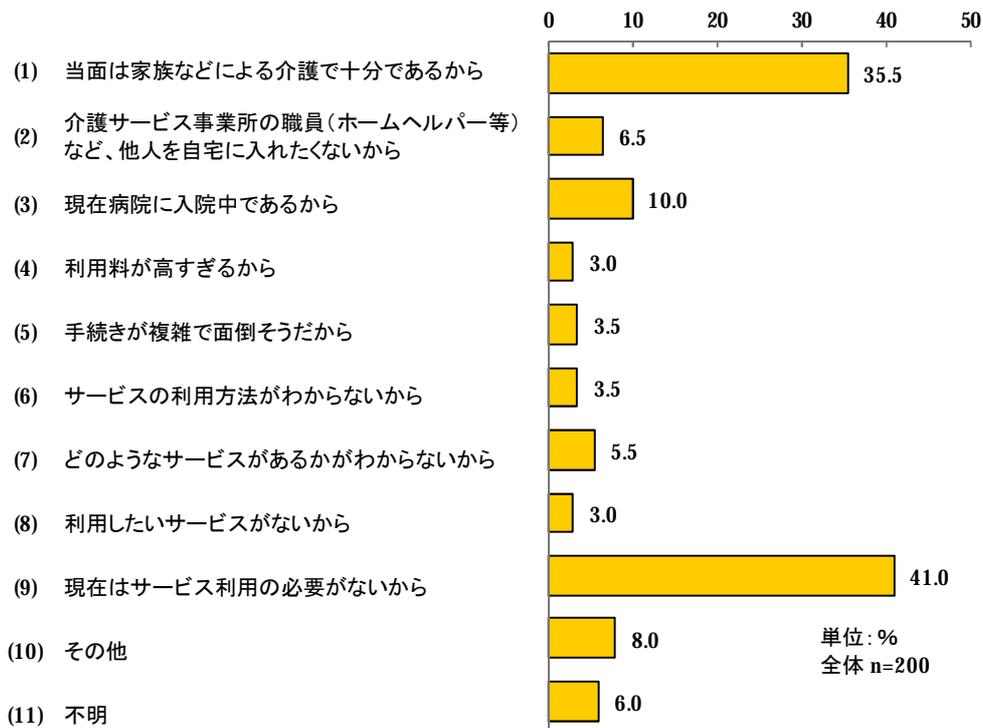
問10. あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。【要介護・要支援認定を受けている方】



# 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

## 問11.介護保険サービスを利用していない理由

I 介護保険サービスを利用していない理由は、「現在はサービス利用の必要がないから」(41.0%)、「当面は家族などによる介護で十分であるから」(35.5%)が高い。以下、「現在病院に入院中であるから」(10.0%)、「介護サービス事業所の職員など、他人を自宅に入れたくないから」(6.5%)と続いている。



問11. あなたが、介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか。(複数回答)【介護保険サービスを利用していない方】

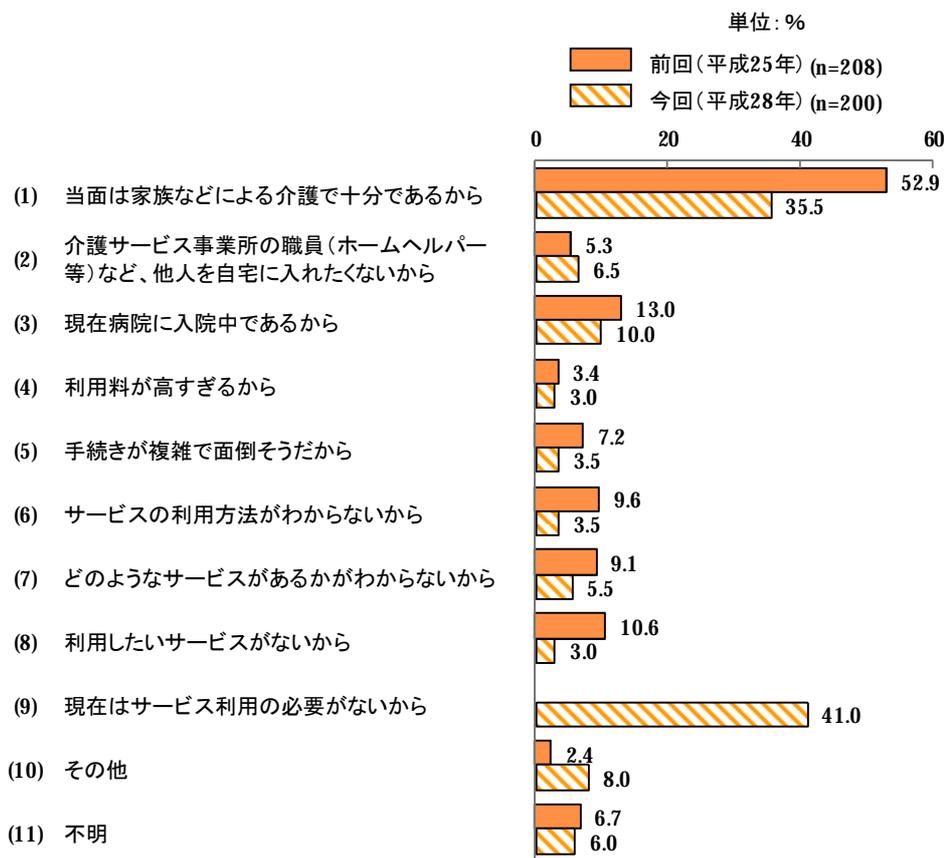
	サンプル数	当面は家族などによる介護で十分であるから	介護サービス事業所の職員(ホームヘルパー等)など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	サービスの利用方法がわからないから	どのようなサービスがあるかわからないから	利用したいサービスがないから	現在はサービス利用の必要がないから	その他	不明
全体	200	35.5	6.5	10.0	3.0	3.5	3.5	5.5	3.0	41.0	8.0	6.0

## 介護保険 2.介護保険サービスの利用状況

### 問11.介護保険サービスを利用していない理由【経年比較】

- I 介護保険サービスを利用していない理由を前回と比較すると、今回新たに加えた項目「現在はサービス利用の必要がないから」が41.0%と高い。前回ポイントの高かった「当面は家族などによる介護で十分であるから」は約17ポイント低下したものの、引き続き35.5%を占めている。
- I 「手続きが複雑で面倒そうだから」「サービスの利用方法がわからないから」「どのようなサービスがあるかわからないから」といった認識不足による理由は、全体的に低下している。

問11. あなたが、介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか。(複数回答)【介護保険サービスを利用していない方】

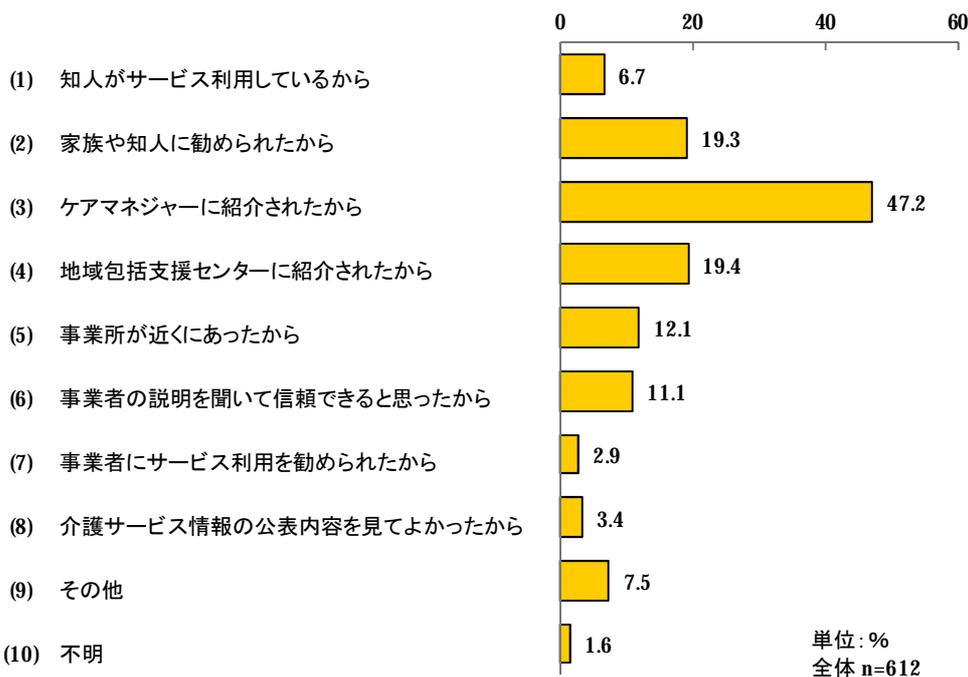


※「現在はサービス利用の必要がないから」は、前回は聴取なし

# 介護保険 3.利用者の満足状況

## 問12.介護保険サービス事業者の選定基準

- I 事業者の選定基準は、「ケアマネジャーに紹介されたから」が47.2%で最も多い。次いで、「地域包括支援センターに紹介されたから」(19.4%)、「家族や知人に勧められたから」(19.3%)、「事業所が近くにあったから」(12.1%)の順に多い。
- I 要介護度別にみると、いずれの層でも「ケアマネジャーに紹介されたから」が最も多いが、要支援1～要介護1では「地域包括支援センターに紹介されたから」も高い。



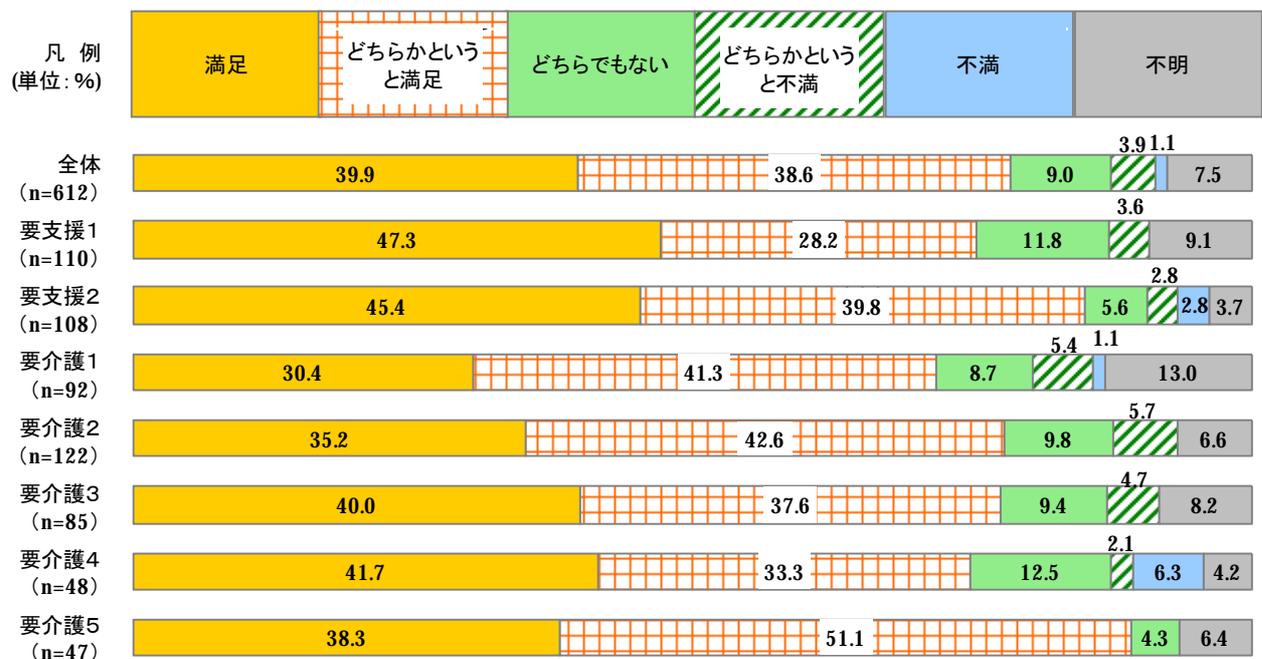
## 問12. あなたは、サービスを利用するに際して、事業者をどのような基準で選ばれましたか。(複数回答)【介護保険サービスを利用している方】

	サンプル数	知人がサービス利用しているから	家族や知人に勧められたから	ケアマネジャーに紹介されたから	地域包括支援センターに紹介されたから	事業所が近くにあったから	事業者の説明を聞いて信頼できる	事業者にサービス利用を勧められたから	介護サービス情報の公表内容を見てよかったから	その他	不明	
全体	612	6.7	19.3	47.2	19.4	12.1	11.1	2.9	3.4	7.5	1.6	
要介護度	要支援1	110	10.9	21.8	36.4	26.4	6.4	10.0	1.8	5.5	8.2	2.7
	要支援2	108	6.5	17.6	39.8	26.9	4.6	5.6	3.7	3.7	5.6	0.9
	要介護1	92	4.3	20.7	44.6	23.9	14.1	16.3	3.3	5.4	8.7	1.1
	要介護2	122	8.2	23.8	54.9	12.3	18.9	13.9	1.6	2.5	6.6	3.3
	要介護3	85	2.4	12.9	51.8	16.5	18.8	12.9	7.1	2.4	7.1	-
	要介護4	48	6.3	25.0	47.9	12.5	10.4	10.4	2.1	2.1	10.4	2.1
	要介護5	47	6.4	8.5	66.0	8.5	10.6	6.4	-	-	8.5	-
	要介護・要支援認定を受けていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 介護保険 3.利用者の満足状況

## 問13.介護保険サービス利用者の満足度

I 介護保険サービス利用者のサービス利用満足度は、「満足」が39.9%、「どちらかという  
と満足」が38.6%となっており、ある程度満足している人の割合は約8割を占める一方、  
「不満」と「どちらかという不満」と答えた方は合計5.0%であった。



問13. あなたは、現在、利用しているサービスの内容に満足していますか。【介護保険サービスを利用している方】

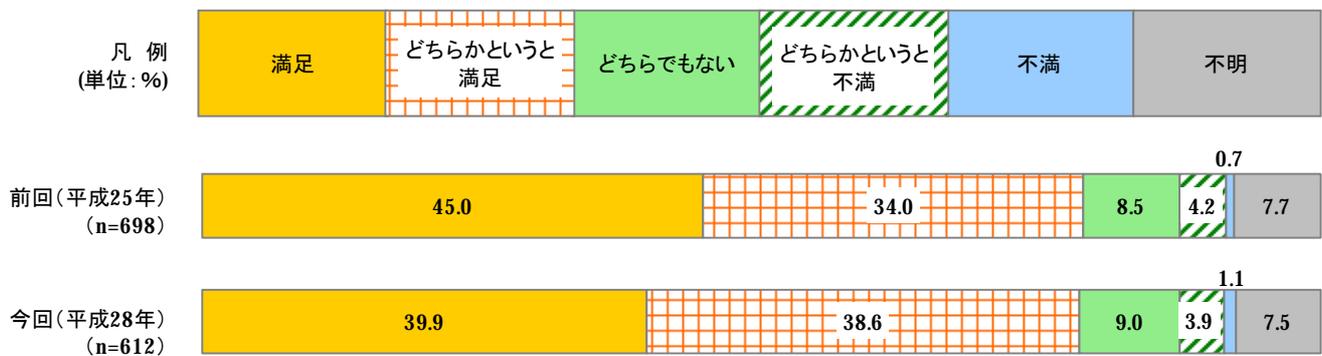
		サンプル数	満足	どちらかという満足	どちらでもない	どちらかという不満	不満	不明
全体		612	39.9	38.6	9.0	3.9	1.1	7.5
要介護度	要支援1	110	47.3	28.2	11.8	3.6	-	9.1
	要支援2	108	45.4	39.8	5.6	2.8	2.8	3.7
	要介護1	92	30.4	41.3	8.7	5.4	1.1	13.0
	要介護2	122	35.2	42.6	9.8	5.7	-	6.6
	要介護3	85	40.0	37.6	9.4	4.7	-	8.2
	要介護4	48	41.7	33.3	12.5	2.1	6.3	4.2
	要介護5	47	38.3	51.1	4.3	-	-	6.4
	要介護・要支援認定を受けていない	-	-	-	-	-	-	-

## 介護保険 3.利用者の満足状況

### 問13.介護保険サービス利用者の満足度【経年比較】

- Ⅰ 介護保険サービスの満足度を前回と比較すると、「満足」は前回の45.0%から今回の39.9%へ約5ポイント低下し、「どちらかという満足」は約5ポイント上昇している。ある程度満足している人の割合は今回78.5%で、前回の79.0%とはほぼ変わらずである。
- Ⅰ 「不満」と「どちらかという不満」の合計は5.0%で、前回の4.9%とはほぼ変わらずである。

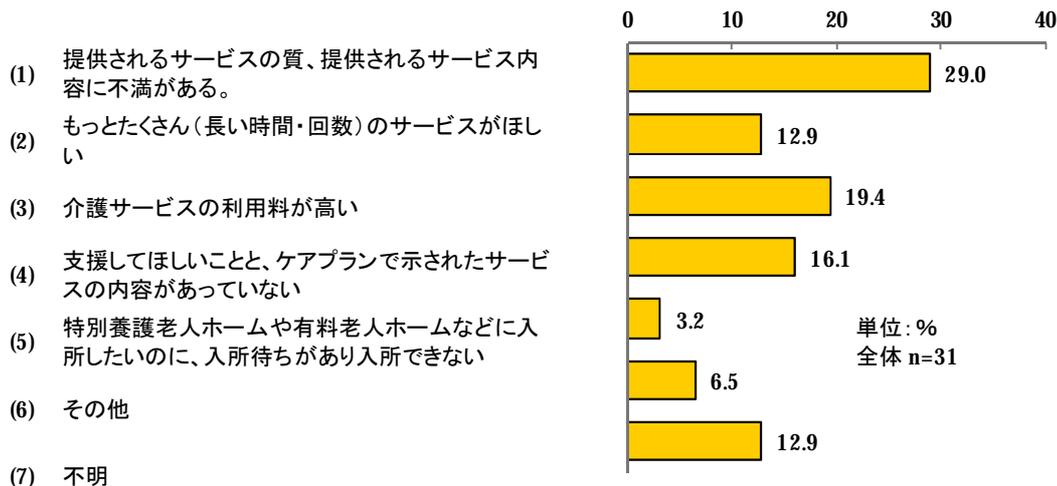
問13. あなたは、現在、利用しているサービスの内容に満足していますか。【介護保険サービスを利用している方】



# 介護保険 3.利用者の満足状況

## 問14.介護保険サービスの不満な点

I 介護保険サービスに不満がある方について、サービスのどの点が不満かを聞いたところ、「提供されるサービスの質、提供されるサービス内容に不満がある。」(29.0%)、「介護サービスの利用料が高い」(19.4%)、「支援してほしいことと、ケアプランで示されたサービスの内容があていない」(16.1%)が上位となっていた。



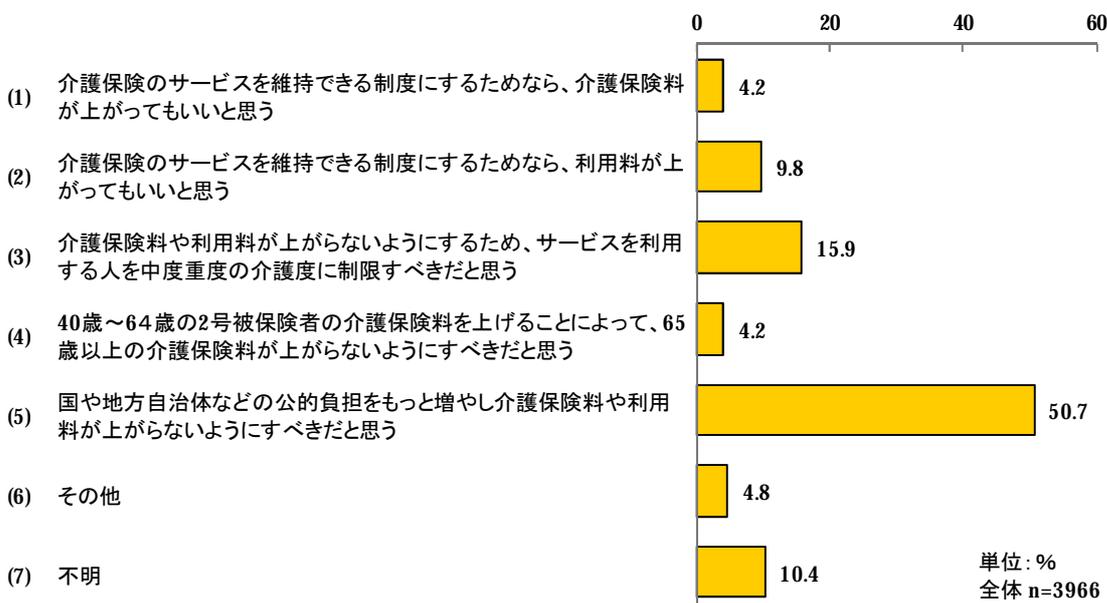
## 問14. サービスのどの点が不満ですか。【介護保険サービスに不満のある方】

	サンプル数	提供されるサービス内容に不満がある	もっとたくさん(長い時間・回数)のサービスがほしい	介護サービスの利用料が高い	支援してほしいことと、ケアプランで示されたサービスの内容があていない	特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所できない	その他	不明
全体	31	29.0	12.9	19.4	16.1	3.2	6.5	12.9

# 介護保険 4.負担と給付

## 問15.負担と給付についての考え方

- I 負担と給付についての考えをみると、「国や地方自治体などの公的負担をもっと増やし介護保険料が上がらないようにすべきだと思う」が50.7%で最も高く、「介護保険料や利用料が上がらないようにするため、サービスを利用する人を中度重度の介護度に制限すべきだと思う」が15.9%となっていた。その一方、介護保険のサービスを維持できる制度にするためなら「介護保険料」や「利用料」が上がってもよいと答えた方はいずれも1割弱となっている。
- I また、要介護度別にみると、要介護4～5で「介護保険のサービスを維持できる制度にするためなら、介護保険料が上がってもいいと思う」が若干高くなっている。

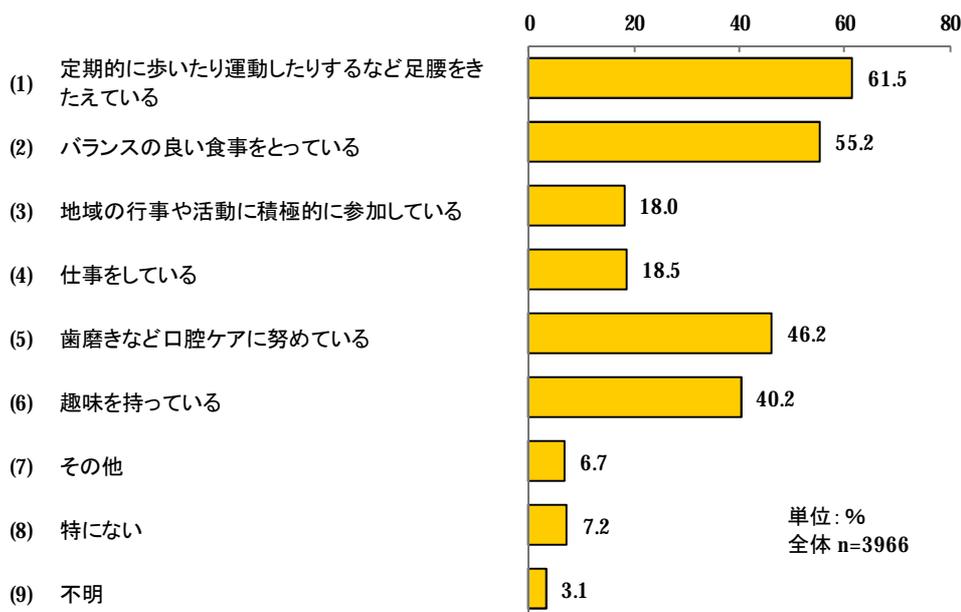


問15. あなたは、負担(介護保険料や利用料)と給付(介護サービス)について、どのように考えていますか。

		サンプル数	介護保険料や利用料が上がらないようにすべきだと思う	介護保険のサービスを維持できる制度にするためなら、介護保険料や利用料が上がってもいいと思う	介護保険料や利用料が上がらないようにするため、サービスを利用する人を中度重度の介護度に制限すべきだと思う	40歳～64歳の2号被保険者の介護保険料を上げることによって、65歳以上の介護保険料が上がらないようにすべきだと思う	国や地方自治体などの公的負担をもっと増やし介護保険料や利用料が上がらないようにすべきだと思う	その他	不明
全体		3966	4.2	9.8	15.9	4.2	50.7	4.8	10.4
年齢	65～69歳	1049	3.1	11.1	13.3	6.8	53.7	5.1	7.1
	70～74歳	927	3.8	9.0	19.5	3.7	50.9	5.0	8.2
	75～79歳	883	3.6	9.7	17.3	3.1	49.7	4.4	12.1
	80～84歳	583	6.3	9.4	14.4	2.2	49.6	4.5	13.6
	85～89歳	315	6.0	7.9	14.9	4.1	47.9	3.8	15.2
	90歳以上	151	6.6	13.9	10.6	4.0	45.7	7.9	11.3
要介護度	要支援1	218	3.7	13.3	13.3	1.8	48.2	4.1	15.6
	要支援2	172	4.1	11.6	12.2	5.8	52.9	2.9	10.5
	要介護1	132	5.3	8.3	8.3	2.3	59.1	8.3	8.3
	要介護2	138	5.1	8.0	14.5	2.9	59.4	5.8	4.3
	要介護3	95	4.2	11.6	9.5	3.2	57.9	4.2	9.5
	要介護4	52	13.5	5.8	9.6	3.8	51.9	7.7	7.7
	要介護5	62	12.9	8.1	8.1	4.8	43.5	14.5	8.1
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	3.8	10.4	17.4	4.2	50.8	5.0	8.4

問16.病気の予防や健康づくりで心がけていること

- I 病気の予防や健康づくりのために心がけていることは、「定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」(61.5%)、「バランスの良い食事をとっている」(55.2%)「歯磨きなど口腔ケアに努めている」(46.2%)の順となっている。
- I 年齢別にみると、79歳以下は「趣味を持っている」が4割以上であるが、85歳以上ではその割合が低下し、「特にない」が増加している。



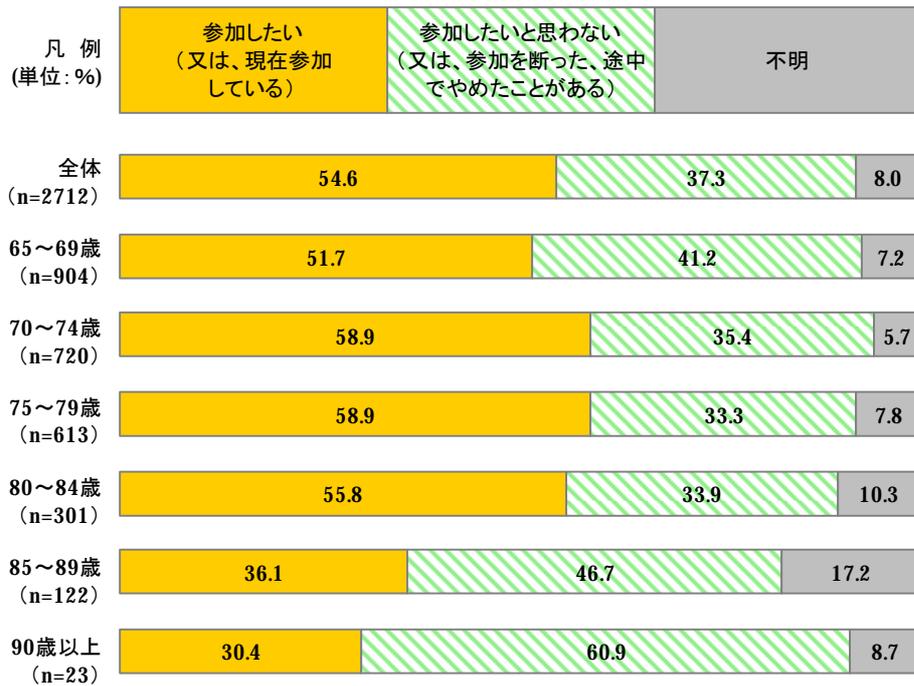
問16. あなたは、病気の予防や健康づくりのために、こういったことを心がけていますか。(複数回答)

		サンプル数	定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている	バランスの良い食事をとっている	地域の行事や活動に積極的に参加している	仕事をしている	歯磨きなど口腔ケアに努めている	趣味を持っている	その他	特にない	不明
全体		3966	61.5	55.2	18.0	18.5	46.2	40.2	6.7	7.2	3.1
年齢	65～69歳	1049	61.0	54.4	15.3	33.1	47.6	42.8	6.2	5.4	2.1
	70～74歳	927	65.5	54.8	19.6	23.1	48.3	44.6	8.8	5.0	2.3
	75～79歳	883	68.0	59.5	22.9	11.3	48.4	45.2	9.1	6.2	2.7
	80～84歳	583	58.7	52.7	18.0	8.1	44.1	35.2	8.9	8.7	4.6
	85～89歳	315	52.7	51.4	15.2	4.4	41.0	28.9	9.2	13.0	5.4
	90歳以上	151	31.8	55.6	7.3	1.3	31.1	15.9	5.3	21.9	4.0

# 地域支援 5.介護予防

## 問17-1.市町村の介護予防事業への参加意向

- Ⅰ 要介護・要支援認定を受けていない方のうち、介護予防事業への参加意向は、「参加したい」(54.6%)、「参加したいと思わない」が(37.3%)であった。
- Ⅰ 性別で見ると、「参加したい」は女性で61.5%、男性が47.0%となるなど、差が見られた。
- Ⅰ 年齢別にみると、84歳までは「参加したい」が多いが、85歳以上は「参加したいと思わない」が多くなる。



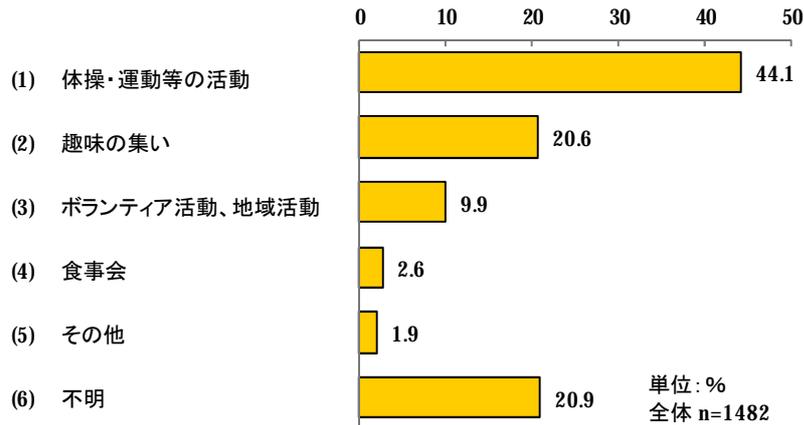
問17-1. あなたは介護予防事業(健康体操や趣味の集い等)に参加したいと思いませんか。【要介護・要支援認定を受けていない方】

		サンプル数	参加したい (又は、現在参加している)	参加したいと思わない (又は、参加を断った、途中でやめたことがある)	不明
全体		2712	54.6	37.3	8.0
性別	男性	1177	47.0	45.6	7.4
	女性	1441	61.5	30.9	7.6
年齢	65～69歳	904	51.7	41.2	7.2
	70～74歳	720	58.9	35.4	5.7
	75～79歳	613	58.9	33.3	7.8
	80～84歳	301	55.8	33.9	10.3
	85～89歳	122	36.1	46.7	17.2
	90歳以上	23	30.4	60.9	8.7

# 地域支援 5.介護予防

## 問17-2.参加したい介護予防事業

I 参加したい介護予防事業の内容は、「体操・運動等の活動」(44.1%)、「趣味の集い」が(20.6%)、「ボランティア活動、地域活動」が(9.9%)であった。

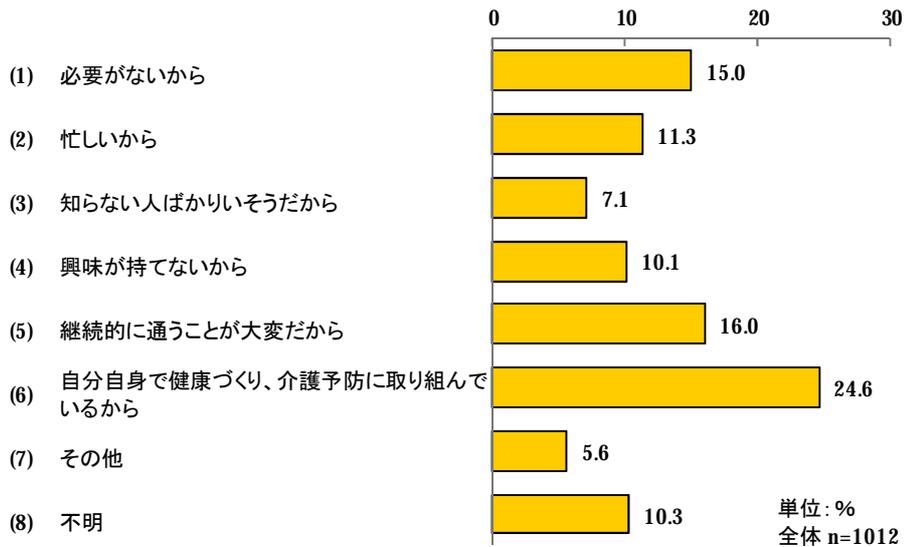


問17-2. あなたが参加したいと思う介護予防事業をお答えください。【介護予防事業に参加したい方】

		サンプル数	体操・運動等の活動	趣味の集い	ボランティア活動、地域活動	食事会	その他	不明
全体		1482	44.1	20.6	9.9	2.6	1.9	20.9
性別	男性	553	39.8	25.3	14.1	1.6	2.7	16.5
	女性	886	47.1	17.9	7.4	2.9	1.4	23.3
年齢	65～69歳	467	44.5	22.1	8.8	3.2	1.1	20.3
	70～74歳	424	44.1	18.6	12.3	1.4	1.2	22.4
	75～79歳	361	44.0	19.4	11.4	2.2	1.7	21.3
	80～84歳	168	43.5	24.4	4.8	3.0	6.0	18.5
	85～89歳	44	38.6	22.7	6.8	6.8	4.5	20.5
	90歳以上	7	42.9	-	14.3	14.3	-	28.6

問17-3.介護予防事業に参加しない理由

I 介護予防事業に参加しない理由は、「自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから」(24.6%)、「継続的に通うことが大変だから」(16.0%)、「必要がないから」(15.0%)、「忙しいから」(11.3%)の順になっている。

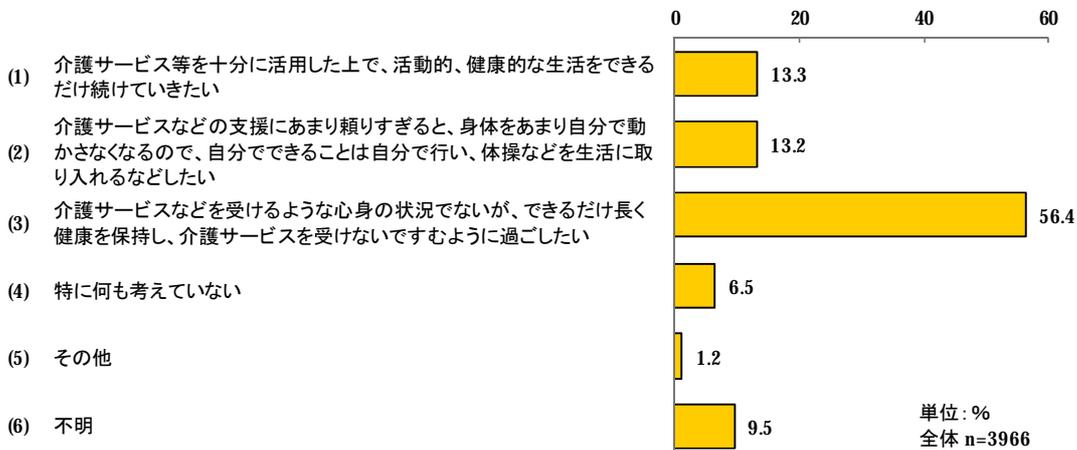


問17-3. 介護予防事業に参加しない理由をお答えください。【介護予防事業に参加したいと思わない方】

		サンプル数	必要がないから	忙しいから	知らない人ばかりいそうだから	興味が持てないから	継続的に通うことが大変だから	自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから	その他	不明
全体		1012	15.0	11.3	7.1	10.1	16.0	24.6	5.6	10.3
性別	男性	537	18.8	10.6	7.4	12.7	11.2	27.7	3.7	7.8
	女性	445	10.6	12.4	6.5	7.0	21.8	21.1	7.9	12.8
年齢	65～69歳	372	15.9	16.9	6.2	10.2	15.3	19.6	5.6	10.2
	70～74歳	255	12.9	9.8	7.5	11.0	16.9	25.5	5.1	11.4
	75～79歳	204	11.8	8.8	9.3	9.3	17.6	28.9	6.4	7.8
	80～84歳	102	17.6	4.9	3.9	8.8	13.7	34.3	5.9	10.8
	85～89歳	57	22.8	1.8	7.0	12.3	12.3	26.3	1.8	15.8
	90歳以上	14	21.4	-	14.3	7.1	21.4	14.3	21.4	-

問18.健康づくり・介護予防に対する考え方

- I 健康づくり・介護予防に対する考え方は、全体では「介護サービスなどを受けるような心身の状況でないが、できるだけ長く健康を保持し、介護サービスを受けないですむように過ごしたい」が56.4%と多数を占めている。
- I 年齢別にみると、年齢が上がるほど「介護サービス等を十分に活用した上で、活動的、健康的な生活をできるだけ続けていきたい」が増加する傾向があり、「介護サービスなどを受けるような心身の状況でないが、できるだけ長く健康を保持し、介護サービスを受けないですむように過ごしたい」が減少していく。
- I 要介護度別にみると、要介護・要支援認定を受けていない層で「介護サービスなどを受けるような心身の状況でないが、できるだけ長く健康を保持し、介護サービスを受けないですむように過ごしたい」が高いが、認定を受けた層では、「介護サービス等を十分に活用した上で、活動的、健康的な生活をできるだけ続けていきたい」が多くなっている。



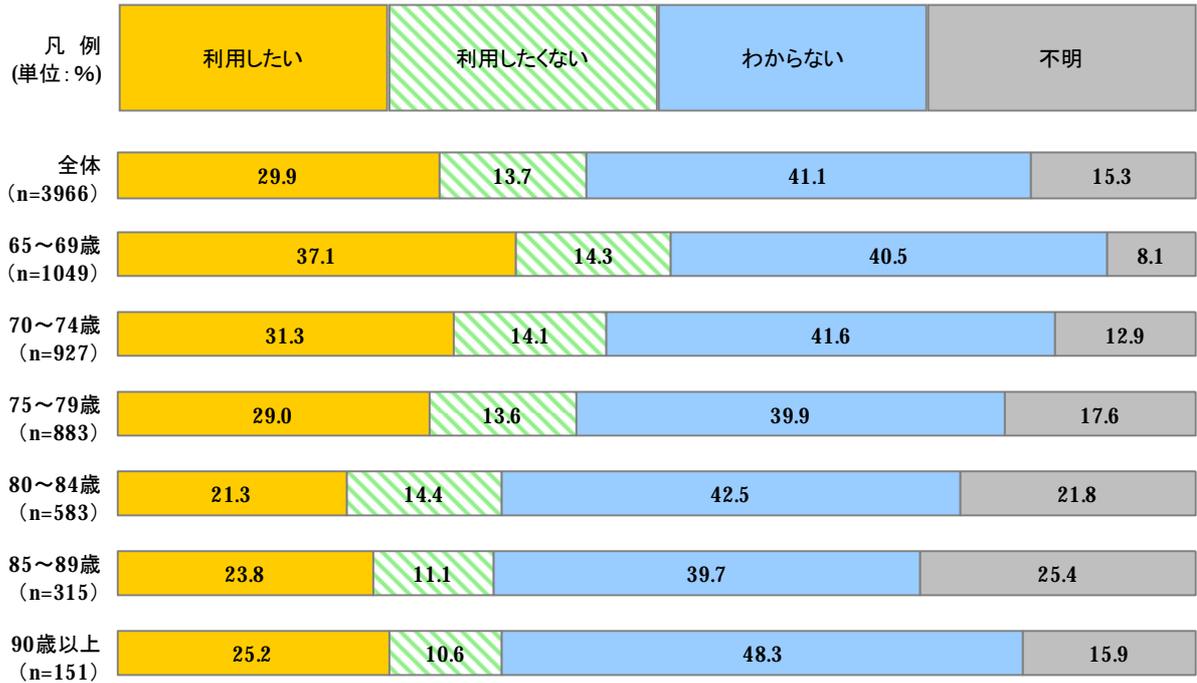
問18. あなたの健康づくり・介護予防に対する考え方をお答えください。

	サンプル数	介護サービス等を活用し、健康的な生活を十分に活用し続けていきたい	できるだけ長く健康を保持し、介護サービスを受けないですむように過ごしたい	介護サービス等を十分に活用した上で、活動的、健康的な生活をできるだけ続けていきたい	介護サービスなどの支援にあまり頼りすぎると、身体をあまり自分で動かさなくなるので、自分でできることは自分で行い、体操などを生活に取り入れるなどしたい	特に何も考えていない	その他	不明
全体	3966	13.3	13.2	56.4	6.5	1.2	9.5	
年齢	65～69歳	1049	7.6	11.1	68.4	6.4	0.4	6.2
	70～74歳	927	8.3	13.8	64.7	4.6	0.9	7.7
	75～79歳	883	13.7	11.3	57.6	5.1	1.5	10.8
	80～84歳	583	17.5	18.0	44.1	7.9	1.5	11.0
	85～89歳	315	25.7	14.6	32.7	7.9	1.9	17.1
	90歳以上	151	38.4	15.2	17.9	17.2	4.0	7.3
要介護度	要支援1	218	30.3	25.7	25.2	4.6	3.7	10.6
	要支援2	172	39.5	19.8	15.7	8.7	2.9	13.4
	要介護1	132	34.1	24.2	14.4	11.4	0.8	15.2
	要介護2	138	50.0	17.4	8.7	13.8	2.2	8.0
	要介護3	95	53.7	9.5	8.4	14.7	4.2	9.5
	要介護4	52	53.8	19.2	1.9	7.7	1.9	15.4
	要介護5	62	45.2	6.5	4.8	24.2	8.1	11.3
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	5.2	11.1	70.4	5.2	0.7	7.4

# 地域支援 6.総合事業

## 問19- 1.NPO団体等によるサービスの利用意向

- I 総合事業のうち、NPO団体等によるサービスの利用について、「わからない」が41.1%と最も高く、「利用したい」が29.9%、「利用したくない」が13.7%である。
- I 年齢別にみると、65～69歳の層では、「利用したい」が37.1%で他の層よりも高い。
- I 要介護度別にみると、いずれの層においても「利用したい」が「利用したくない」を上回っている。

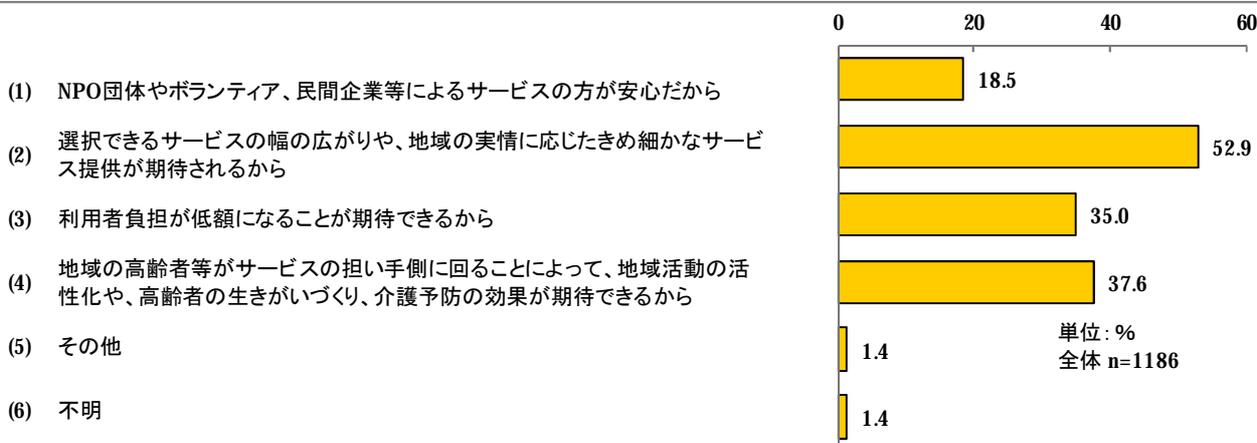


問19- 1. NPO団体など民間企業等による提供サービスについて、利用したいと思いますか。

		サンプル数	利用したい	利用したくない	わからない	不明
全体		3966	29.9	13.7	41.1	15.3
年齢	65～69歳	1049	37.1	14.3	40.5	8.1
	70～74歳	927	31.3	14.1	41.6	12.9
	75～79歳	883	29.0	13.6	39.9	17.6
	80～84歳	583	21.3	14.4	42.5	21.8
	85～89歳	315	23.8	11.1	39.7	25.4
	90歳以上	151	25.2	10.6	48.3	15.9
要介護度	要支援1	218	24.8	13.3	38.1	23.9
	要支援2	172	18.6	16.3	50.6	14.5
	要介護1	132	24.2	14.4	41.7	19.7
	要介護2	138	20.3	10.9	52.2	16.7
	要介護3	95	30.5	12.6	37.9	18.9
	要介護4	52	34.6	11.5	40.4	13.5
	要介護5	62	27.4	3.2	58.1	11.3
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	33.2	14.5	40.2	12.0

問19-2. NPO団体等によるサービスを利用したい理由

- I NPO団体等によるサービスを利用したい理由は、「選択できるサービスの幅の広がりや、地域の実情に応じたきめ細かなサービス提供が期待されるから」が52.9%と高く、次いで「地域の高齢者等がサービスの担い手側に回ることによって、地域活動の活性化や、高齢者の生きがいづくり、介護予防の効果が期待できるから」(37.6%)、「利用者負担が低額になることが期待できるから」(35.0%)の順となっている。
- I 年齢別にみると、65～69歳の層で、「地域の高齢者等がサービスの担い手側に回ることによって、地域活動の活性化や、高齢者の生きがいづくり、介護予防の効果が期待できるから」が43.7%となっており、他の年齢層よりも高い。
- I 要介護度別にみると、要支援1から要介護1まででは「NPO団体やボランティア、民間企業等によるサービスの方が安心だから」が3割以上と高くなっている。

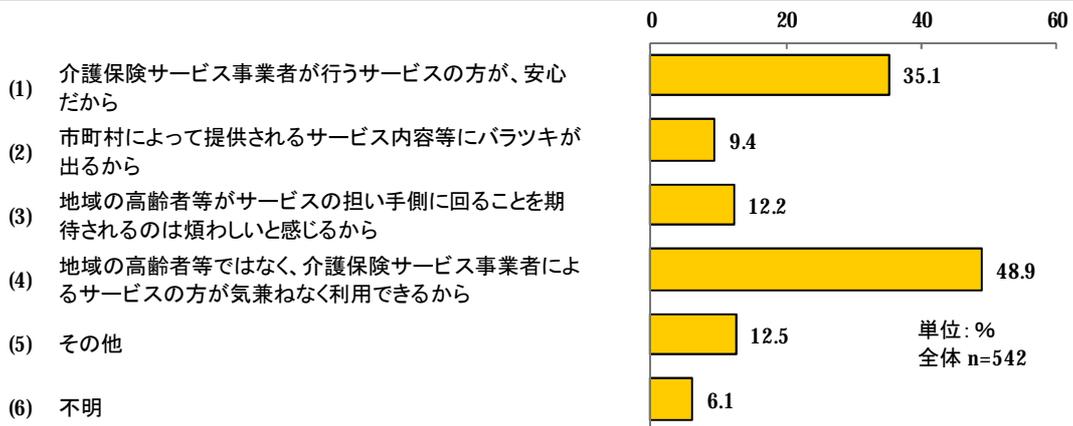


問19-2. NPO団体など民間企業等によるサービスを利用したい理由は何ですか。(複数回答)

	サンプル数	民間NPO団体等によるボランティアセンターの提供、	期待される地域サービスの幅の広がり	が利用者負担が低額になること	年齢別の効果が期待できる	その他	不明	
全体	1186	18.5	52.9	35.0	37.6	1.4	1.4	
年齢	65～69歳	389	12.3	57.3	37.3	43.7	1.0	0.3
	70～74歳	290	16.9	48.6	33.8	40.7	1.4	2.4
	75～79歳	256	22.7	51.2	32.8	34.8	1.2	1.2
	80～84歳	124	26.6	52.4	33.1	28.2	3.2	0.8
	85～89歳	75	25.3	46.7	34.7	28.0	2.7	5.3
	90歳以上	38	26.3	60.5	39.5	23.7	-	2.6
要介護度	要支援1	54	33.3	50.0	40.7	29.6	3.7	7.4
	要支援2	32	37.5	50.0	43.8	18.8	-	-
	要介護1	32	31.3	50.0	43.8	34.4	-	3.1
	要介護2	28	14.3	50.0	42.9	28.6	3.6	3.6
	要介護3	29	10.3	58.6	34.5	24.1	6.9	-
	要介護4	18	5.6	55.6	38.9	33.3	5.6	-
	要介護5	17	11.8	52.9	52.9	35.3	-	5.9
	要介護・要支援認定を受けていない	901	17.1	53.1	33.7	40.3	1.2	1.1

問19-3. NPO団体等によるサービスを利用したくない理由

- I NPO団体等によるサービスを利用したくない理由は、「地域の高齢者等ではなく、介護保険サービス事業者によるサービスの方が気兼ねなく利用できるから」が48.9%と最も多く、次に「介護保険サービス事業者が行うサービスの方が、安心だから」が35.1%となっている。
- I 年齢別にみると、85歳以上で「介護保険サービス事業者が行うサービスの方が、安心だから」が約5割を占めた。



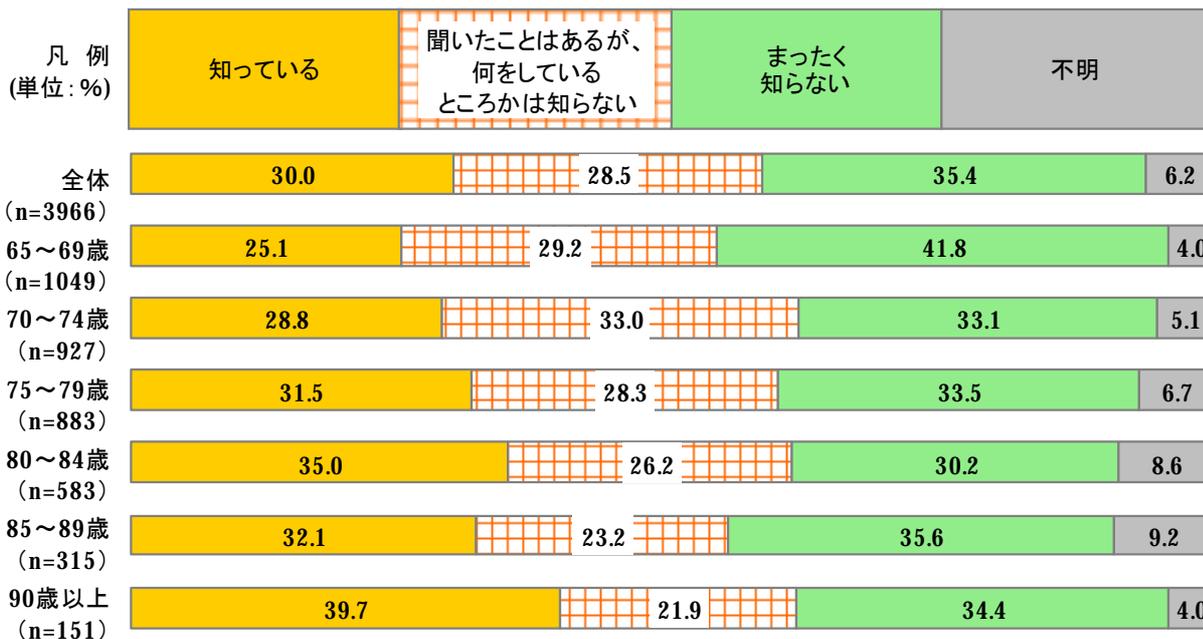
問19-3. NPO団体など民間企業等によるサービスを利用したくない理由は何ですか。(複数回答)

		サンプル数	介護保険サービス事業者が行うサービス	市町村によって提供されるサービス	地域の高齢者等がサービスのは担い手	地域の高齢者等によるサービスは、介護保険	その他	不明
全体		542	35.1	9.4	12.2	48.9	12.5	6.1
年齢	65～69歳	150	32.7	12.0	11.3	48.0	13.3	3.3
	70～74歳	131	27.5	6.1	14.5	51.9	13.7	6.1
	75～79歳	120	35.8	10.0	12.5	43.3	9.2	9.2
	80～84歳	84	41.7	8.3	7.1	57.1	11.9	4.8
	85～89歳	35	48.6	17.1	22.9	37.1	20.0	8.6
	90歳以上	16	50.0	-	-	43.8	12.5	12.5

# 地域支援 7.地域のネットワーク

## 問20.地域包括支援センターの認識度

- I 地域包括支援センターの認識は、「まったく知らない」が35.4%で最も多い。「知っている」は30.0%、「聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない」は28.5%である。
- I 年齢別にみると、年齢が高いほど、「知っている」が高くなる傾向にある。
- I 要介護度別にみると、要介護・要支援認定を受けていない層の方が認識度が低い。



## 問20. あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。

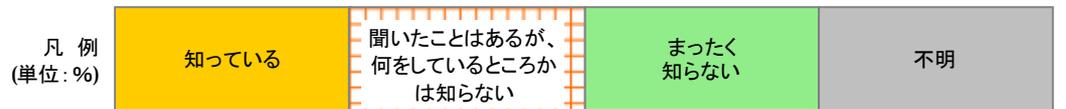
		サンプル数	知っている	聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない	まったく知らない	不明
全体		3966	30.0	28.5	35.4	6.2
年齢	65～69歳	1049	25.1	29.2	41.8	4.0
	70～74歳	927	28.8	33.0	33.1	5.1
	75～79歳	883	31.5	28.3	33.5	6.7
	80～84歳	583	35.0	26.2	30.2	8.6
	85～89歳	315	32.1	23.2	35.6	9.2
	90歳以上	151	39.7	21.9	34.4	4.0
要介護度	要支援1	218	50.9	20.6	17.9	10.6
	要支援2	172	52.9	25.6	16.3	5.2
	要介護1	132	40.9	23.5	31.1	4.5
	要介護2	138	35.5	25.4	28.3	10.9
	要介護3	95	44.2	28.4	22.1	5.3
	要介護4	52	48.1	25.0	21.2	5.8
	要介護5	62	33.9	29.0	30.6	6.5
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	26.8	30.1	38.3	4.9

## 地域支援 7.地域のネットワーク

### 問20.地域包括支援センターの認識度【経年比較】

- I 地域包括支援センターの認識度を前回と比較すると、要介護・要支援認定を受けている層では、前回47.8%から今回45.2%へ低下し、認定を受けていない層は、前回24.1%から今回26.8%へ上昇している。

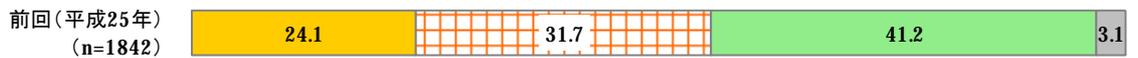
問20. あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】



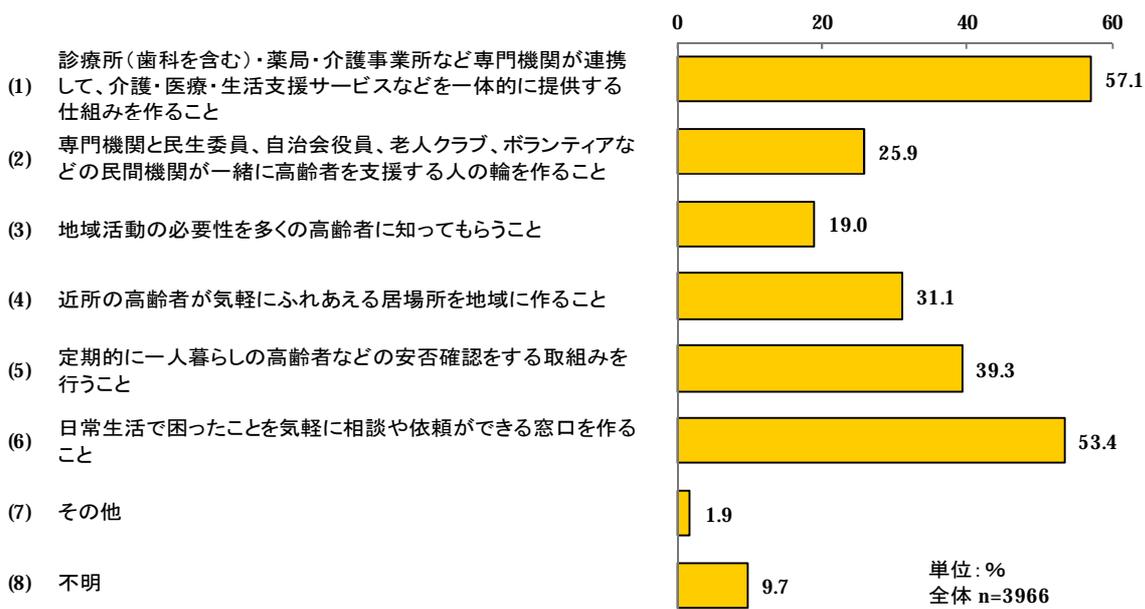
【要介護・要支援認定を受けていない】



# 地域支援 7.地域のネットワーク

## 問21.地域のネットワークづくりに必要なこと

I 介護の必要な高齢者が地域で暮らしやすくするためのネットワークづくりに大切だと思うことは、「診療所(歯科を含む)・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」(57.1%)、「日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること」(53.4%)、「定期的に一人暮らしの高齢者などの安否確認をする取組みを行うこと」(39.3%)、「近所の高齢者が気軽にふれあえる居場所を地域に作ること」(31.1%)の順に多い。



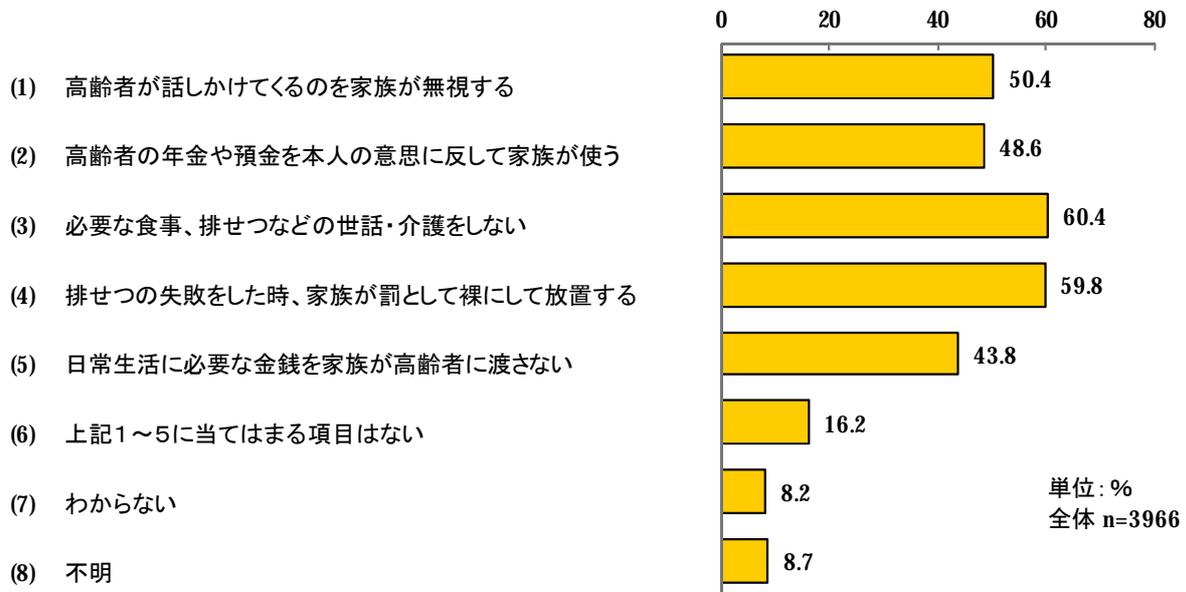
問21. あなたは、介護の必要な高齢者が地域で暮らしやすくするためのネットワーク(地域包括ケアシステム)を作るために、何が大切だと思いますか。(複数回答)

	サンプル数	診療所(歯科を含む)・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること	専門機関と民生委員、自治会役員、老人クラブ、ボランティアなどの民間機関と一緒に高齢者を支援する人の輪を作ること	地域活動の必要性を多くの高齢者に知ってもらうこと	近所の高齢者が気軽にふれあえる居場所を地域に作ること	定期的に一人暮らしの高齢者などの安否確認をする取組みを行うこと	日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること	その他	不明	
全体	3966	57.1	25.9	19.0	31.1	39.3	53.4	1.9	9.7	
要介護度	要支援1	218	52.3	22.0	17.4	31.2	30.3	49.5	0.5	12.8
	要支援2	172	57.6	21.5	16.3	30.2	44.8	51.7	1.7	9.9
	要介護1	132	58.3	22.7	18.9	27.3	34.8	47.0	3.0	11.4
	要介護2	138	64.5	15.9	13.8	29.0	44.2	55.8	1.4	9.4
	要介護3	95	73.7	23.2	11.6	21.1	38.9	47.4	2.1	7.4
	要介護4	52	67.3	15.4	13.5	25.0	34.6	63.5	5.8	7.7
	要介護5	62	62.9	32.3	11.3	16.1	37.1	30.6	6.5	12.9
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	58.6	28.3	20.3	32.5	40.9	55.8	1.8	7.9

# 地域支援 8.高齢者虐待防止

## 問22.高齢者虐待に当てはまると思うもの

I 高齢者虐待に当てはまると思うものは、「必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない」が60.4%、次いで「排せつの失敗をした時、家族が罰として裸にして放置する」が59.8%、「高齢者が話しかけてくるのを家族が無視する」が50.4%と続く。



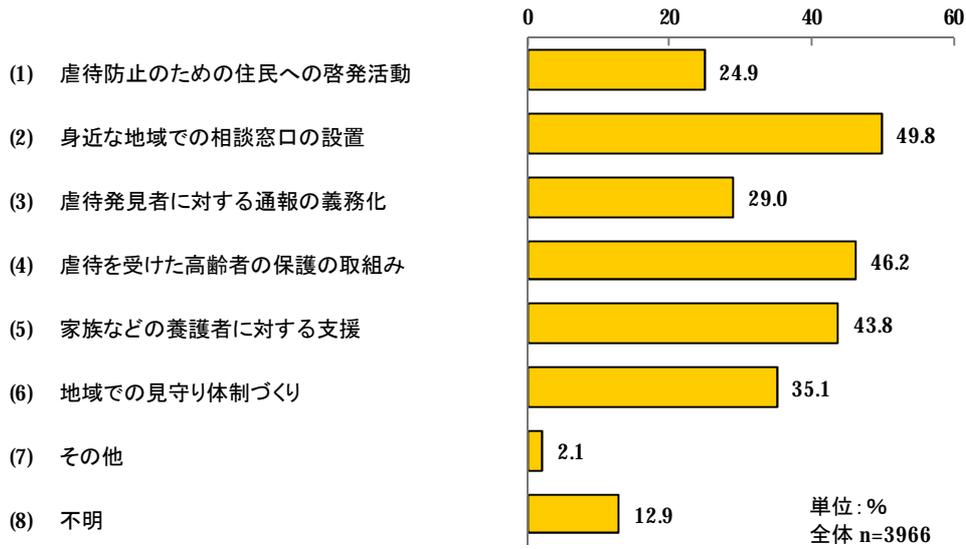
問22. 次のうち、あなたが高齢者虐待に当てはまると思うものをお答えください。  
(複数回答)

	サンプル数	族高 が無 視す る	思高 に反 者の の年 金や 預金 を使 う	話必 ・要 介な 護食 をし ない 排せ つな どの 世	罰排 とせ つし の失 裸に 敗し をて 放し 置す る	高日 齢常 者に 生活 に必 要な 金銭 を家 族が	な上 記1 ～5 に当 ては まる 項目 は	わ か ら な い	不 明	
全体	3966	50.4	48.6	60.4	59.8	43.8	16.2	8.2	8.7	
年齢	65～69歳	1049	60.0	58.5	71.9	72.4	53.1	9.0	7.3	6.3
	70～74歳	927	51.6	48.5	63.8	63.1	44.1	14.8	8.0	6.8
	75～79歳	883	48.2	45.9	57.2	55.0	40.8	18.0	9.4	8.8
	80～84歳	583	40.8	40.7	47.5	48.7	36.4	24.4	7.4	12.3
	85～89歳	315	41.9	40.3	47.3	47.0	37.1	25.1	9.2	14.3
	90歳以上	151	48.3	47.7	61.6	55.0	44.4	14.6	8.6	7.3
要介護度	要支援1	218	36.7	37.2	42.7	41.7	31.2	28.0	7.3	16.1
	要支援2	172	45.3	43.6	50.0	47.7	35.5	22.7	14.0	6.4
	要介護1	132	47.0	47.0	56.1	55.3	45.5	18.9	10.6	13.6
	要介護2	138	43.5	42.8	55.1	52.9	39.1	21.7	8.0	9.4
	要介護3	95	48.4	49.5	63.2	61.1	42.1	17.9	6.3	9.5
	要介護4	52	50.0	44.2	53.8	50.0	40.4	19.2	11.5	9.6
	要介護5	62	48.4	48.4	71.0	58.1	35.5	8.1	9.7	8.1
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	54.8	52.7	65.3	65.6	48.2	13.6	7.3	6.6

# 地域支援 8.高齢者虐待防止

## 問23.高齢者虐待防止のために必要なこと

I 高齢者虐待防止に必要な取組みは、「身近な地域での相談窓口の設置」(49.8%)、「虐待を受けた高齢者の保護の取組み」(46.2%)、「家族などの養護者に対する支援」(43.8%)が上位である。

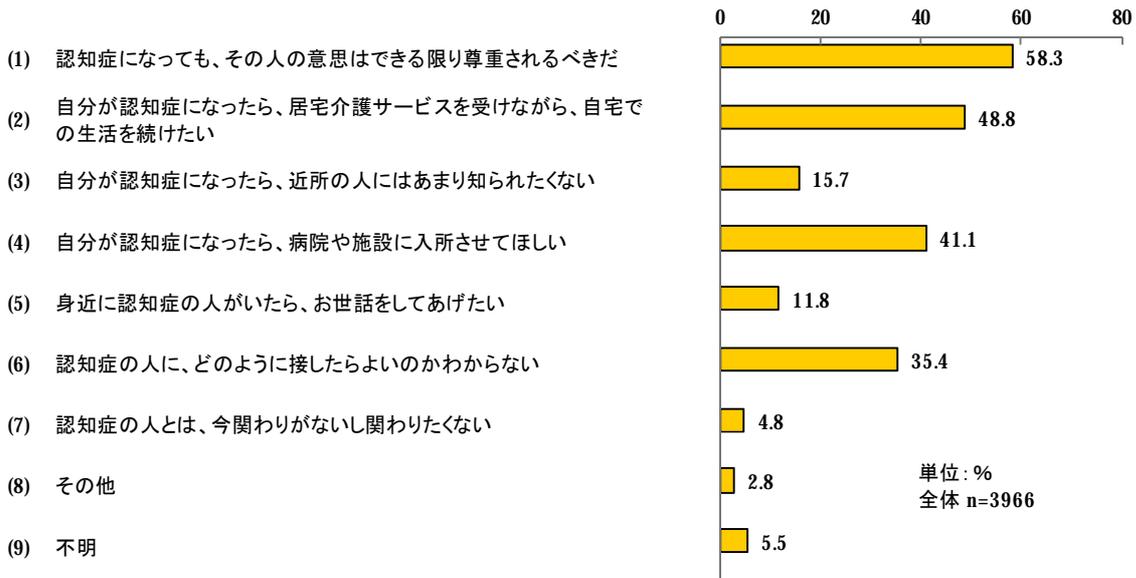


問23. あなたは、高齢者虐待の防止のために必要な取組みはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

		サンプル数	住民虐待防止の啓発活動	身近な地域での設置	通報発見者の義務化	虐待を受けた高齢者の保護	家族など養護者への支援	地域での見守り体制づくり	その他	不明
全体		3966	24.9	49.8	29.0	46.2	43.8	35.1	2.1	12.9
年齢	65～69歳	1049	25.9	53.1	28.6	55.0	53.1	33.2	2.1	7.6
	70～74歳	927	26.1	51.5	29.7	50.1	44.8	34.3	1.5	11.1
	75～79歳	883	25.7	50.5	28.9	43.4	39.5	39.3	1.9	12.7
	80～84歳	583	22.0	45.8	31.6	37.6	34.5	36.9	2.2	18.7
	85～89歳	315	22.5	43.2	28.6	35.6	38.7	29.5	2.9	22.2
	90歳以上	151	25.2	47.0	21.2	38.4	48.3	37.7	4.0	14.6
要介護度	要支援1	218	22.5	50.5	24.3	34.9	31.7	31.7	2.3	20.2
	要支援2	172	19.2	47.7	30.2	37.2	37.2	39.5	2.9	16.9
	要介護1	132	20.5	44.7	28.0	39.4	47.7	37.9	2.3	18.2
	要介護2	138	19.6	49.3	28.3	44.9	55.8	32.6	4.3	10.9
	要介護3	95	23.2	38.9	29.5	38.9	47.4	36.8	3.2	13.7
	要介護4	52	26.9	40.4	23.1	38.5	51.9	26.9	5.8	17.3
	要介護5	62	27.4	35.5	29.0	50.0	61.3	19.4	3.2	12.9
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	26.8	52.1	29.9	50.4	45.7	36.0	1.8	9.7

問24.認知症に対する考え方

- I 認知症に対する考えは、「認知症になっても、その人の意思はできる限り尊重されるべきだ」が58.3%で最も高い。
- I 次いで、「自分が認知症になったら、居宅介護サービスを受けながら、自宅での生活を続けたい」が48.8%、「自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい」が41.1%の順となっていた。

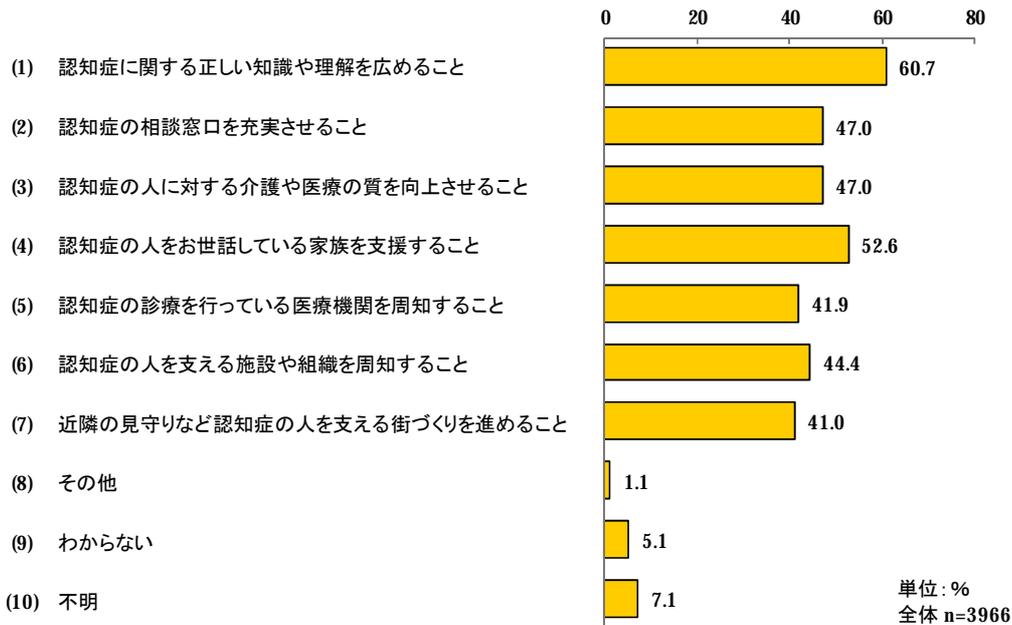


問24. あなたは、認知症、あるいは認知症の人に対してどのようなお考えをおもちですか。(複数回答)

		サンプル数	は認知症になっても、その人の意思	の生活を続けたい	自分が認知症になったら、居宅介護	自分には認知症にならな	自分が認知症になったら、近所の	施設に入所させたい	自分が入所させたい	話をしながら	身近に認知症の人がいたら、お世	らよいのか、わからない	認知症の人とは、今関わりがない	し関わりたくない	その他	不明
全体		3966	58.3	48.8	15.7	41.1	11.8	35.4	4.8	2.8	5.5					
性別×年齢	男性 計	1579	55.6	50.0	14.9	39.1	10.3	39.1	6.1	2.7	5.4					
	65～69歳	466	58.8	44.2	13.1	45.9	9.0	41.0	6.2	1.9	3.0					
	70～74歳	386	52.8	48.2	15.0	37.8	9.3	42.2	4.9	2.8	4.4					
	75～79歳	357	57.4	56.9	15.4	37.8	11.8	42.0	6.4	2.0	5.6					
	80～84歳	222	50.5	58.1	15.8	27.5	12.2	29.7	7.2	4.1	10.4					
	85～89歳	111	57.7	47.7	21.6	42.3	11.7	31.5	8.1	3.6	7.2					
	90歳以上	27	51.9	37.0	7.4	33.3	7.4	33.3	3.7	3.7	11.1					
	女性 計	2205	61.4	48.7	16.1	42.5	13.2	33.2	3.8	2.9	5.1					
	65～69歳	567	67.5	46.7	13.6	45.5	14.6	34.7	1.6	2.5	2.8					
	70～74歳	519	62.8	48.9	15.2	44.7	14.5	33.1	2.9	2.1	3.9					
	75～79歳	484	60.1	52.1	14.5	39.0	14.0	34.9	3.9	3.5	5.6					
	80～84歳	331	55.9	49.5	20.8	39.9	10.3	32.6	6.0	2.7	7.6					
	85～89歳	182	54.4	45.6	23.6	44.0	10.4	29.1	7.7	3.8	8.8					
90歳以上	105	58.1	41.0	13.3	40.0	9.5	25.7	5.7	3.8	8.6						

問25.認知症の人が安心して暮らせるまちにするために

- I 認知症の人が安心して暮らせるために必要な対策は、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が60.7%で最も高い。
- I 次いで、「認知症の人をお世話している家族を支援すること」(52.6%)、「認知症の相談窓口を充実させること」(47.0%)、「認知症の人に対する介護や医療の質を向上させること」(47.0%)の順となっている。

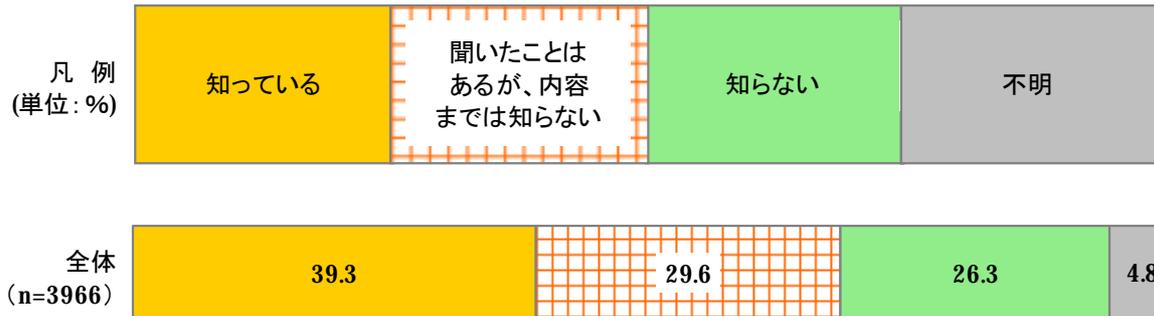


問25. あなたは、認知症の人が安心して暮らせるまちにするには、どのような対策が必要だと思いますか。(複数回答)

		サンプル数	認知症に関する正しい知識を広めること	認知症の相談窓口を充実させること	認知症の人に対する介護や医療の質を向上させること	認知症の人をお世話している家族を支援すること	認知症の診療を行っている医療機関を周知すること	認知症の人を支える施設や組織を周知すること	近隣の見守りなど認知症の人を支える街づくりを進めること	その他	わからない	不明
全体		3966	60.7	47.0	47.0	52.6	41.9	44.4	41.0	1.1	5.1	7.1
性別×年齢	男性 計	1579	59.5	47.4	46.2	50.3	38.7	41.7	39.6	1.1	4.9	6.6
	65～69歳	466	60.5	49.4	49.1	57.7	39.7	47.9	40.1	1.3	4.7	3.9
	70～74歳	386	59.8	48.7	45.3	48.4	37.8	42.2	40.4	0.8	3.9	5.4
	75～79歳	357	59.1	48.7	46.5	49.3	40.1	38.7	41.5	0.8	5.0	7.3
	80～84歳	222	57.2	42.3	44.1	43.7	36.9	37.8	38.7	1.4	5.0	12.2
	85～89歳	111	57.7	46.8	42.3	43.2	36.9	36.9	32.4	2.7	8.1	9.0
	90歳以上	27	66.7	37.0	51.9	51.9	44.4	29.6	44.4	-	11.1	7.4
	女性 計	2205	62.9	48.0	48.0	55.6	45.1	47.3	42.4	1.0	5.0	6.7
	65～69歳	567	67.9	54.1	55.4	63.0	48.9	57.0	49.6	1.1	2.5	3.4
	70～74歳	519	61.8	47.2	47.2	56.6	44.7	49.7	42.0	1.0	3.9	5.0
	75～79歳	484	63.0	45.9	46.1	49.8	43.6	44.6	41.1	0.4	5.8	8.3
	80～84歳	331	61.0	44.1	42.6	47.4	44.7	36.6	38.1	1.5	7.3	10.6
	85～89歳	182	53.8	46.2	44.0	58.2	42.9	41.8	36.8	2.2	7.7	12.6
90歳以上	105	62.9	43.8	45.7	57.1	38.1	38.1	34.3	-	8.6	3.8	

問26.成年後見制度の認識度

- I 成年後見制度の認識度は、「知っている」(39.3%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」(29.6%)、「知らない」(26.3%)で、それぞれ3割程度である。
- I 年齢別で見ると、79歳以下では、「知っている」割合の方が高いが、80歳以上では「知らない」割合の方が高くなっている。



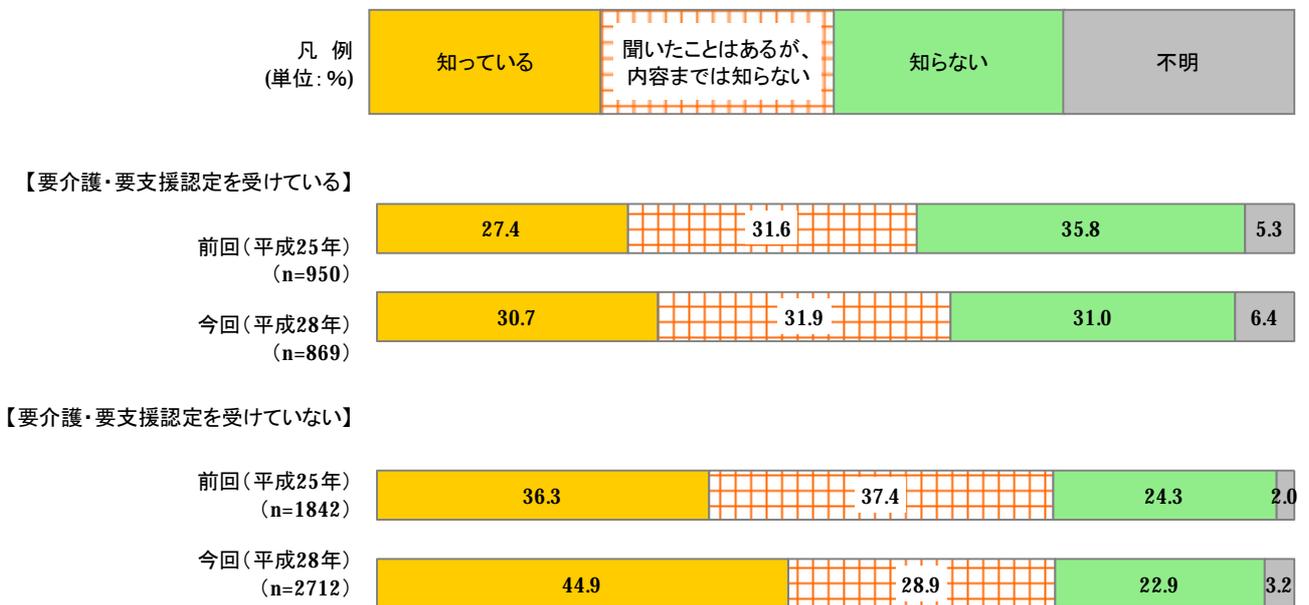
問26. あなたは、成年後見制度について知っていますか。

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らないが、	知らない	不明
全体		3966	39.3	29.6	26.3	4.8
年齢	65～69歳	1049	46.8	28.8	22.3	2.1
	70～74歳	927	42.0	30.1	24.2	3.8
	75～79歳	883	37.7	32.0	25.0	5.2
	80～84歳	583	31.0	26.1	33.8	9.1
	85～89歳	315	31.1	28.3	34.3	6.3
	90歳以上	151	29.8	31.1	34.4	4.6

問26.成年後見制度の認知度【経年比較】

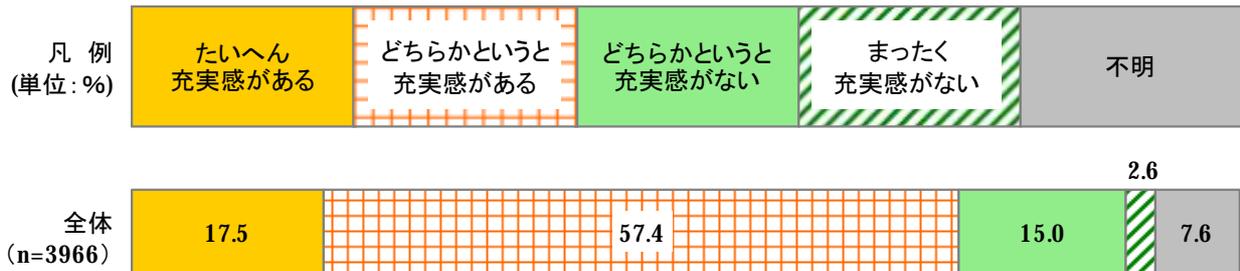
- I 成年後見制度の認知度を前回と比較すると、要介護・要支援認定を受けている層では、「知っている」が前回27.4%から今回31.0%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が前回31.6%から今回32.0%となっており、認知度は上昇している。
- I 認定を受けていない層では、「知っている」が前回36.3%から今回44.9%に上昇しているが、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」を含めると、割合は前回とほぼ同じである。

問26. あなたは、成年後見制度について知っていますか。



問27.日々の充実感

- Ⅰ 日々の充実感の有無は、「どちらかという充実感がある」が最も多く、57.4%を占めた。「たいへん充実感がある」の17.5%を加えると、充実感がある方が74.9%に達した。
- Ⅰ 日々の充実感の有無は、暮らし向き、暮らしの安心とも、相関関係がみられた。



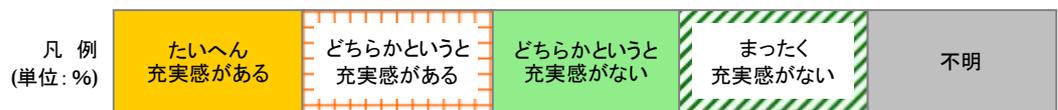
問27. あなたは、日々充実感をもって生活をおくっていますか。

		サンプル数	たいへん充実感がある	どちらかという充実感がある	どちらかという充実感がない	まったく充実感がない	不明
全体		3966	17.5	57.4	15.0	2.6	7.6
年齢	65～69歳	1049	19.4	58.6	15.3	1.3	5.3
	70～74歳	927	19.1	61.2	11.1	2.9	5.7
	75～79歳	883	19.0	58.6	13.4	2.5	6.6
	80～84歳	583	13.6	55.2	17.0	2.4	11.8
	85～89歳	315	15.2	48.6	20.0	4.1	12.1
	90歳以上	151	9.3	45.0	29.1	7.3	9.3
世帯構成	一人暮らし	757	15.7	54.2	19.2	3.3	7.7
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1613	19.6	59.2	12.8	1.8	6.6
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	127	24.4	55.1	13.4	-	7.1
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	132	13.6	56.1	18.2	2.3	9.8
	子どもと同居(65歳未満含む)	1070	16.5	59.3	13.8	2.6	7.8
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	51	11.8	62.7	21.6	2.0	2.0
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	39	23.1	53.8	10.3	5.1	7.7
施設に入所	80	5.0	33.8	33.8	11.3	16.3	
暮らし向き	たいへんゆとりがある	127	65.4	29.9	3.1	-	1.6
	ややゆとりがある	502	29.7	61.2	7.4	-	1.8
	普通である	2364	17.0	65.1	12.9	1.8	3.1
	やや苦しい	578	7.3	53.8	30.8	3.8	4.3
	たいへん苦しい	176	8.0	33.0	34.7	18.2	6.3
暮らしの安心	安心して暮らすことができる	822	33.8	48.8	8.5	1.5	7.4
	どちらかという安心して暮らすことができる	2314	13.9	65.3	14.1	2.0	4.6
	どちらかという安心して暮らすことができない	445	12.1	48.3	28.5	5.8	5.2
	まったく安心して暮らすことができない	60	6.7	33.3	40.0	10.0	10.0

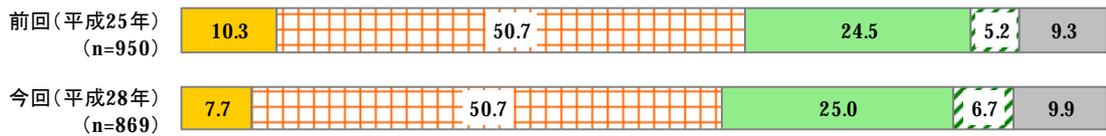
問27.日々の充実感【経年比較】

Ⅰ 日々の充実感の有無を前回と比較すると、要介護・要支援認定を受けている層も認定を受けていない層も、構成割合は前回とほぼ同じである。

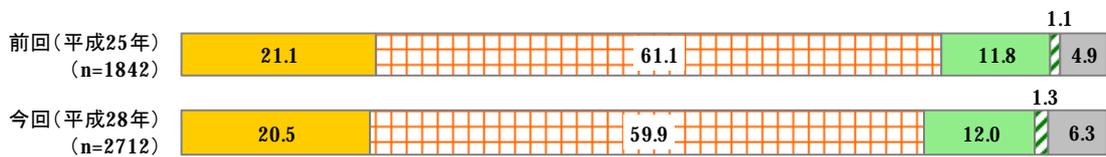
問27. あなたは、日々充実感をもって生活をおくっていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

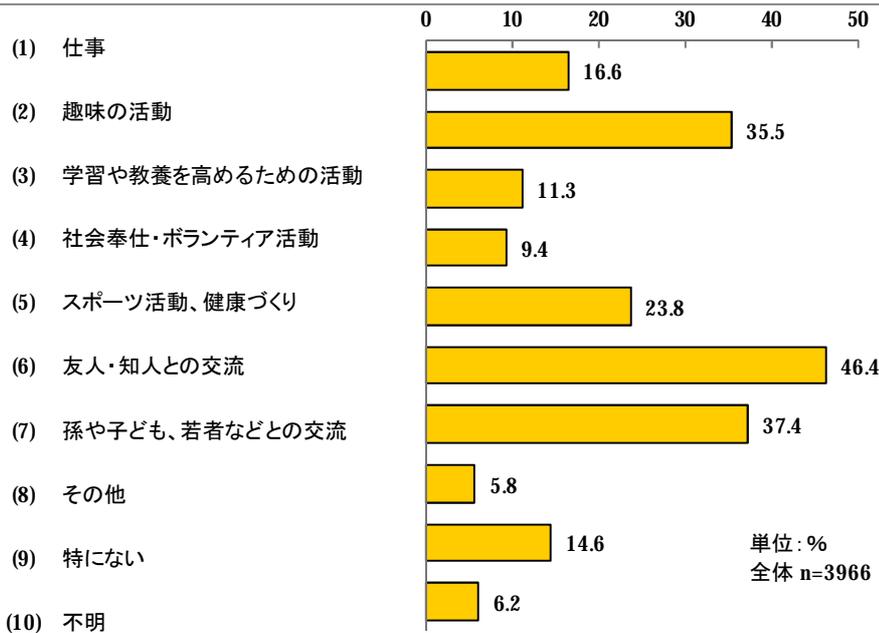


【要介護・要支援認定を受けていない】



問28.生きがいを感じていること

- I 生きがいを感じていることは、「友人・知人との交流」が46.4%で最も多く、「孫や子ども、若者などとの交流」(37.4%)、「趣味の活動」(35.5%)と続いている。
- I 性別で見ると、女性が男性よりポイントが高いのは、「友人・知人との交流」や「孫や子ども、若者などとの交流」である。他方、男性は、「仕事」や「趣味の活動」がやや高くなっている。

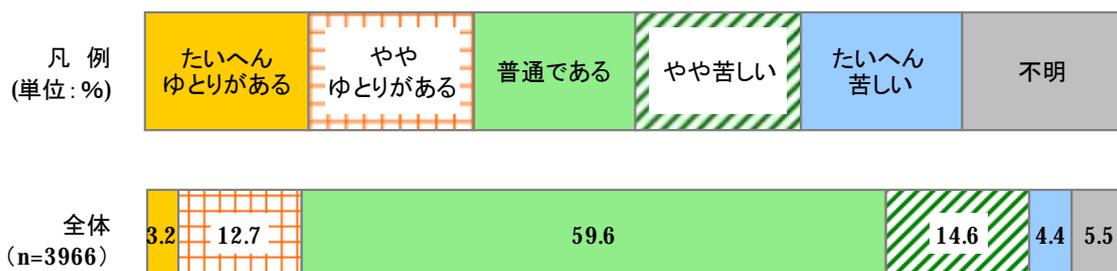


問28. あなたが、現在、生きがいを感じていることはどのようなことですか。(複数回答)

		サンプル数	仕事	趣味の活動	学習や教養を高めるための活動	社会奉仕・ボランティア活動	スポーツ活動、健康づくり	友人・知人との交流	孫や子ども、若者などとの交流	その他	特にない	不明
全体		3966	16.6	35.5	11.3	9.4	23.8	46.4	37.4	5.8	14.6	6.2
性別×年齢	男性計	1579	23.0	40.1	12.3	11.2	25.1	37.4	32.4	4.7	16.3	6.2
	65～69歳	466	35.4	42.7	14.2	10.7	24.2	39.1	33.3	3.0	15.7	4.3
	70～74歳	386	26.4	44.8	10.9	14.5	30.8	40.4	31.6	4.7	14.0	5.2
	75～79歳	357	14.8	39.8	13.2	13.2	28.3	37.0	34.5	4.2	14.3	5.3
	80～84歳	222	13.5	31.1	13.5	8.6	17.6	34.7	31.5	5.4	16.7	12.2
	85～89歳	111	9.0	33.3	8.1	3.6	19.8	35.1	27.9	8.1	27.0	9.0
	90歳以上	27	3.7	25.9	-	-	7.4	7.4	29.6	18.5	40.7	3.7
	女性計	2205	12.5	33.5	11.2	8.3	23.3	53.4	41.5	6.5	13.1	5.8
	65～69歳	567	22.8	38.1	15.0	9.0	29.1	58.2	49.2	4.6	9.2	3.2
	70～74歳	519	17.0	40.3	12.1	13.5	26.4	60.7	44.9	5.2	8.5	3.7
	75～79歳	484	7.2	34.5	11.2	8.5	26.4	57.6	35.3	7.0	13.0	5.6
	80～84歳	331	5.1	26.9	8.2	3.9	17.2	46.2	39.9	6.6	14.8	10.9
	85～89歳	182	2.2	22.0	6.0	3.8	9.9	39.0	31.9	9.9	23.6	9.9
90歳以上	105	1.9	11.4	3.8	1.0	4.8	18.1	31.4	15.2	33.3	8.6	

問29.日々の暮らし向き

- I 日々の暮らし向き実感は、「普通である」が59.6%と多数を占めている。「たいへんゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計は15.9%、「やや苦しい」と「たいへん苦しい」の合計は19.0%であった。
- I 住宅の種類別にみると、借家は「苦しい」と回答した人の比率が高い。「ゆとりがある」との回答は、持ち家の層で比率が高かった。



問29. あなたは、日々の暮らし向きについてどのように感じていますか。

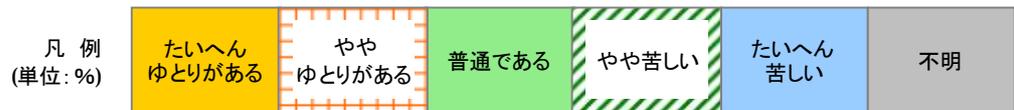
		サンプル数	たいへんゆとりがある	ややゆとりがある	普通である	やや苦しい	たいへん苦しい	不明
全体		3966	3.2	12.7	59.6	14.6	4.4	5.5
住宅の種類	持ち家(一戸建て)	2515	4.2	14.9	62.5	11.2	2.3	4.9
	持ち家(共同住宅)	586	2.6	14.7	58.9	15.4	3.8	4.8
	借家(一戸建て)	67	-	3.0	40.3	25.4	17.9	13.4
	借家(民営の共同住宅)	314	0.6	4.1	45.5	31.8	11.8	6.1
	借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)	296	0.7	4.1	56.4	21.3	10.8	6.8
	有料・サ高住	36	-	8.3	72.2	8.3	8.3	2.8
	養護・軽費・グループホーム	18	-	5.6	72.2	11.1	5.6	5.6
	特養・老健・介護療養型医療施設	46	4.3	6.5	56.5	15.2	4.3	13.0
	その他	40	2.5	5.0	57.5	17.5	10.0	7.5
要介護度	要支援1	218	0.5	11.5	61.5	17.4	3.2	6.0
	要支援2	172	2.9	9.9	56.4	15.1	8.7	7.0
	要介護1	132	6.1	8.3	56.8	15.2	6.8	6.8
	要介護2	138	0.7	10.9	60.9	15.2	7.2	5.1
	要介護3	95	2.1	7.4	63.2	14.7	5.3	7.4
	要介護4	52	-	5.8	53.8	21.2	9.6	9.6
	要介護5	62	1.6	3.2	54.8	12.9	11.3	16.1
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	3.7	14.2	59.8	13.8	3.8	4.6

# 暮らしの安全・安心 10.日常生活の状況

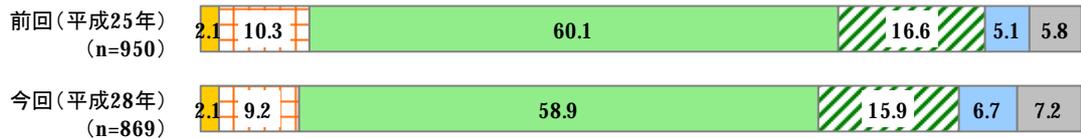
## 問29.日々の暮らし向き【経年比較】

I 暮らし向き実感を前回と比較すると、要介護・要支援認定を受けている層も認定を受けていない層も、構成割合は前回とほぼ同じである。

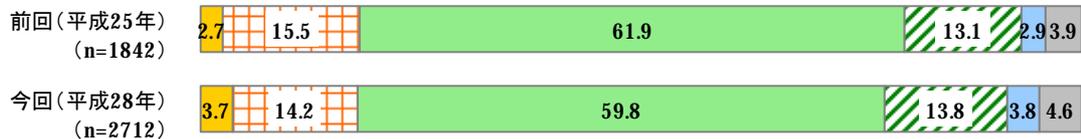
問29. あなたは、日々の暮らし向きについてどのように感じていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

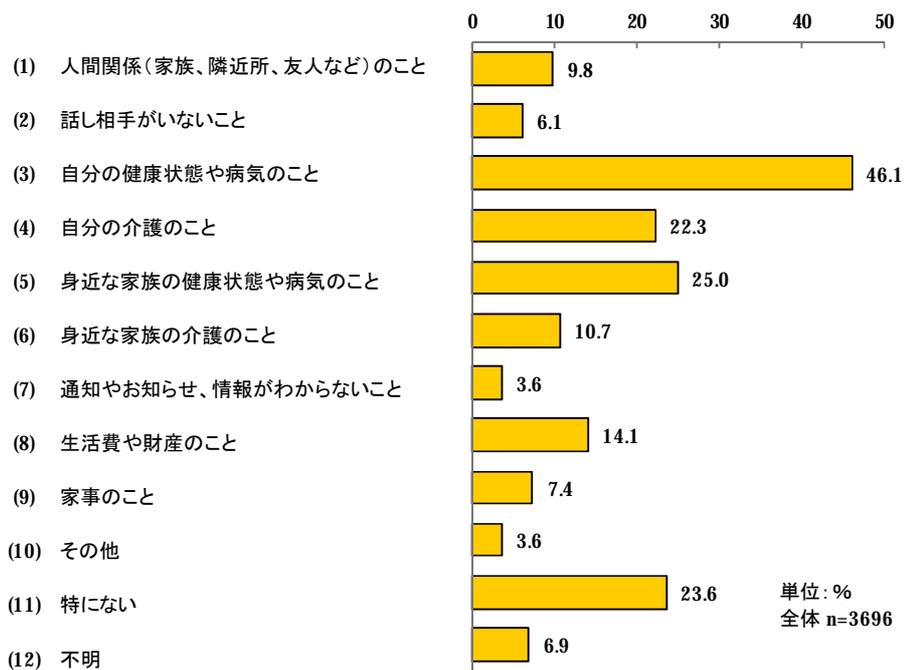


【要介護・要支援認定を受けていない】



問30.日常生活上の不安や悩み

- 日常生活での不安や悩みは、「自分の健康状態や病気のこと」(46.1%)、「身近な家族の健康状態や病気のこと」(25.0%)が上位で、健康面が高い。
- 年齢別にみると、総じて高齢になるほど、「話し相手がいないこと」や「自分の介護のこと」が高くなる。

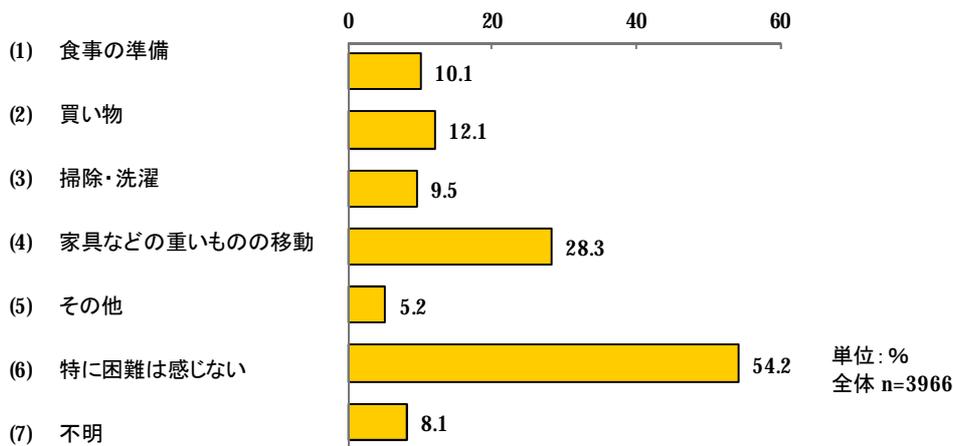


問30. あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。(複数回答)

	サンプル数	人間関係(家族、隣近所、友人など)のこと	話し相手がいないこと	自分の健康状態や病気のこと	自分の介護のこと	身近な家族の健康状態や病気のこと	身近な家族の介護のこと	通知やお知らせ、情報がわからないこと	生活費や財産のこと	家事のこと	その他	特にない	不明	
全体	3966	9.8	6.1	46.1	22.3	25.0	10.7	3.6	14.1	7.4	3.6	23.6	6.9	
年齢	65~69歳	1049	10.7	3.3	45.2	16.0	27.4	12.6	2.8	18.4	5.1	4.0	25.5	4.4
	70~74歳	927	11.4	4.9	47.1	21.4	23.5	10.6	3.2	16.1	7.7	3.0	24.8	6.1
	75~79歳	883	9.6	6.6	46.2	24.9	25.7	11.3	3.2	13.8	7.0	3.2	22.0	7.6
	80~84歳	583	7.4	8.7	47.0	27.1	26.2	9.6	4.3	9.9	10.1	3.8	19.6	10.1
	85~89歳	315	10.2	10.2	43.8	26.7	21.0	8.6	6.7	7.0	10.5	4.4	25.1	8.9
	90歳以上	151	6.6	12.6	47.7	27.8	16.6	4.6	4.6	4.6	6.0	2.6	27.8	6.0
要介護度	要支援1	218	11.0	11.0	58.7	31.7	24.3	11.9	5.0	9.6	13.3	5.0	14.7	6.0
	要支援2	172	14.0	18.6	64.5	30.2	23.3	11.0	8.1	9.3	15.7	2.3	14.5	7.0
	要介護1	132	12.1	11.4	58.3	36.4	23.5	6.1	13.6	18.9	16.7	4.5	12.1	7.6
	要介護2	138	10.9	13.8	61.6	36.2	24.6	10.1	5.8	11.6	14.5	4.3	13.8	5.8
	要介護3	95	7.4	12.6	49.5	35.8	20.0	10.5	5.3	12.6	4.2	2.1	17.9	7.4
	要介護4	52	11.5	19.2	55.8	61.5	23.1	9.6	9.6	19.2	11.5	1.9	13.5	9.6
	要介護5	62	8.1	6.5	45.2	25.8	11.3	8.1	4.8	11.3	4.8	6.5	25.8	12.9
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	9.6	4.2	43.8	18.7	26.8	11.2	2.4	14.9	6.2	3.6	26.2	5.9

問31.日常生活で困難を感じているか

- Ⅰ 日常生活での困難については、「特に困難は感じない」が54.2%と多く、次に「家具などの重いものの移動」が28.3%と続く。
- Ⅰ 性別では、女性の方が「家具などの重いものの移動」の割合が高い。
- Ⅰ 年齢別にみると、74歳までは「特に困難は感じない」が約6割となっている。
- Ⅰ 世帯構成別にみると、「特に困難は感じない」は夫婦二人暮らし（配偶者が65歳未満）で68.5%と高くなっている。

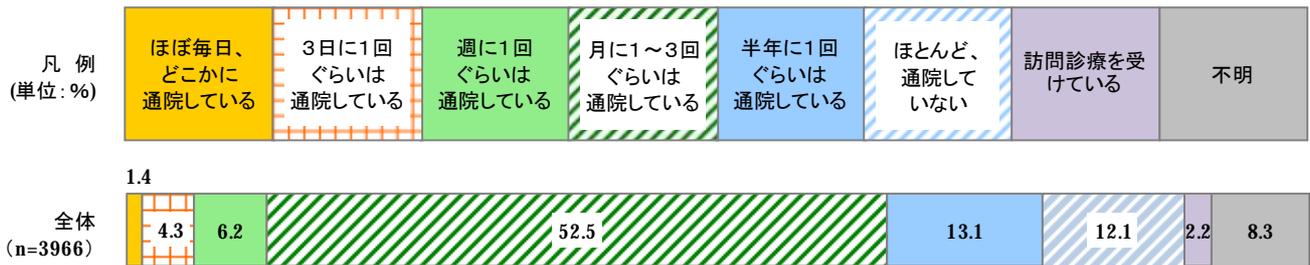


問31. あなたが、現在、日常生活で困難を感じていることはありますか。(複数回答)

		サンプル数	食事の準備	買い物	掃除・洗濯	家具などの重いものの移動	その他	特に困難は感じない	不明
全体		3966	10.1	12.1	9.5	28.3	5.2	54.2	8.1
性別	男性	1579	9.9	7.8	7.3	19.4	4.3	61.6	9.3
	女性	2205	9.9	14.8	10.7	34.9	5.7	49.4	7.1
年齢	65～69歳	1049	5.1	5.1	4.7	22.7	4.7	64.8	5.8
	70～74歳	927	9.8	9.3	8.2	25.4	3.6	58.3	6.9
	75～79歳	883	9.3	11.4	10.4	34.5	5.4	48.2	9.3
	80～84歳	583	13.0	20.4	12.0	35.2	5.5	43.6	9.8
	85～89歳	315	19.0	24.4	16.8	31.1	9.2	45.1	10.2
	90歳以上	151	20.5	19.2	19.2	17.9	7.9	54.3	11.3
世帯構成	一人暮らし	757	14.0	16.6	14.7	35.7	5.8	43.6	7.8
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1613	8.2	9.5	7.1	28.4	5.0	56.4	8.1
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	127	7.1	5.5	7.1	16.5	3.9	68.5	5.5
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	132	14.4	13.6	11.4	18.9	6.1	51.5	11.4
	子どもと同居(65歳未満含む)	1070	9.8	13.3	9.4	26.8	4.1	58.1	7.0
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	51	13.7	7.8	11.8	35.3	3.9	49.0	5.9
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	39	5.1	12.8	7.7	30.8	12.8	48.7	7.7
	施設に入所	80	10.0	12.5	8.8	13.8	12.5	52.5	20.0

問32.医療機関にかかる頻度

- I 病院や診療所への通院頻度は、「月に1～3回ぐらい」が52.5%で最も多い。「週に1回以上」の合計は11.9%、「半年に1回以下」の合計は25.2%、「訪問診療を受けている」は2.2%である。
- I 要介護度別にみると、要介護3以上では、「訪問診療を受けている」割合が高くなっている。



問32. あなたは、病院や診療所などの医療機関にどの程度かかっていますか。

		サンプル数	ほぼ毎日、どこかに通院している	3日に1回ぐらいは通院している	週に1回ぐらいは通院している	月に1～3回ぐらいは通院している	半年に1回ぐらいは通院している	ほとんど、通院していない	訪問診療を受けている	不明
全体		3966	1.4	4.3	6.2	52.5	13.1	12.1	2.2	8.3
記入者	本人	3138	1.0	4.3	5.9	53.6	14.5	13.3	0.3	7.1
	家族	828	0.4	0.0	0.3	0.5	0.6	0.9	0.0	0.6
年齢	65～69歳	1049	0.7	3.2	3.6	45.9	19.1	21.1	0.7	5.7
	70～74歳	927	0.8	3.6	5.7	54.4	15.5	12.6	0.8	6.7
	75～79歳	883	0.9	5.4	6.9	56.6	10.2	9.4	1.4	9.2
	80～84歳	583	3.3	6.3	8.1	57.1	7.7	4.3	2.6	10.6
	85～89歳	315	3.5	4.4	9.5	50.5	8.3	5.7	6.3	11.7
	90歳以上	151	0.7	2.0	5.3	52.3	5.3	4.6	15.9	13.9
要介護度	要支援1	218	3.2	10.6	13.3	54.6	3.7	2.3	0.5	11.9
	要支援2	172	5.2	10.5	14.5	54.7	6.4	1.2	1.7	5.8
	要介護1	132	4.5	8.3	9.8	49.2	3.8	3.0	6.8	14.4
	要介護2	138	2.9	5.1	6.5	57.2	9.4	2.9	8.7	7.2
	要介護3	95	-	6.3	3.2	44.2	5.3	2.1	21.1	17.9
	要介護4	52	-	3.8	7.7	34.6	-	3.8	36.5	13.5
	要介護5	62	3.2	1.6	3.2	25.8	3.2	3.2	29.0	30.6
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	0.7	3.4	5.2	53.5	15.4	15.3	0.1	6.6

問33.人生の最期をどう過ごしたいか

I 人生の最後をどう過ごしたいかについては、「住み慣れた自宅で療養したい」が47.9%と最も多く、次に「わからない」(20.5%)、「なるべく早く医療機関に入院したい」(11.7%)と続く。

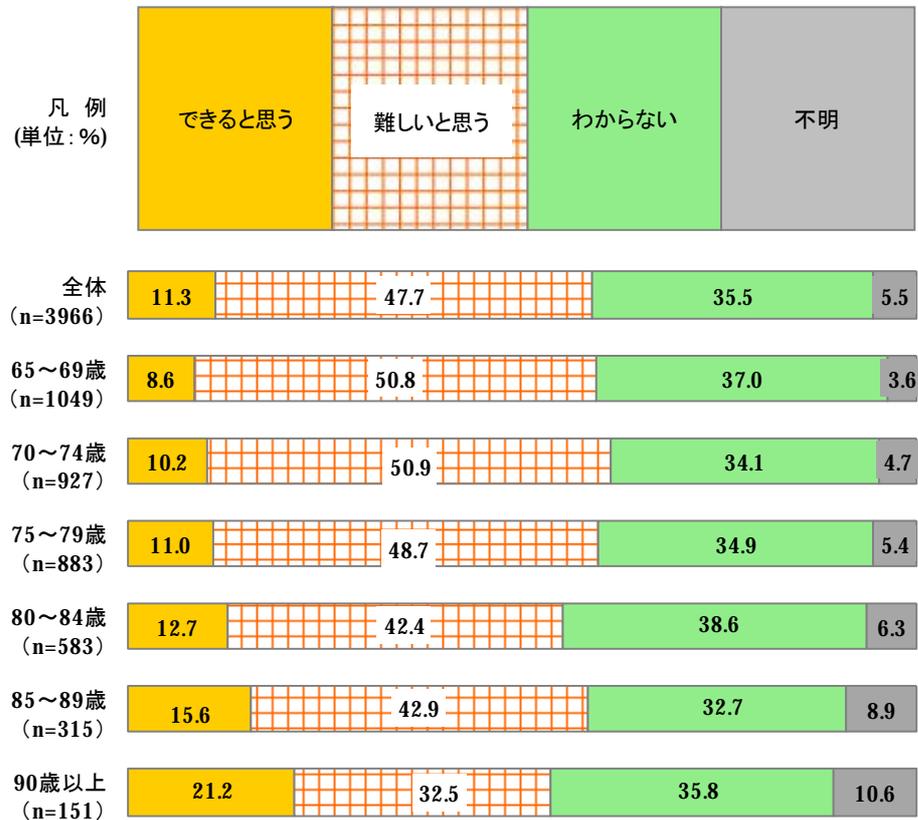


問33. あなたは、人生の最期をどう過ごしたいですか。

		サンプル数	住み慣れた自宅で療養したい	い付き高齢者住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等)で最期を迎えたい	介護保険施設(特別養護老人ホーム等)で最期を迎えたい	なるべく早く医療機関に入院したい	わからない	不明
全体		3966	47.9	5.4	7.9	11.7	20.5	6.6
世帯構成	一人暮らし	757	40.2	7.1	10.4	14.9	19.8	7.5
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1613	50.6	5.1	7.7	11.1	19.8	5.7
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	127	55.9	4.7	6.3	7.1	22.0	3.9
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	132	62.9	2.3	3.0	6.8	15.9	9.1
	子どもと同居(65歳未満含む)	1070	49.7	4.8	6.4	12.1	20.7	6.2
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	51	60.8	5.9	3.9	3.9	21.6	3.9
親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	39	41.0	2.6	5.1	10.3	30.8	10.3	
施設に入所	80	7.5	18.8	25.0	7.5	28.8	12.5	
暮らしの安心	安心して暮らすことができる	822	55.7	3.6	5.0	12.0	18.7	4.9
	どちらかという安心して暮らすことができる	2314	48.9	6.3	8.0	11.4	21.0	4.5
	どちらかという安心して暮らすことができない	445	37.5	6.3	13.7	14.6	18.2	9.7
	まったく安心して暮らすことができない	60	35.0	5.0	11.7	10.0	33.3	5.0

問34-1.自宅で療養しながら最期まで過ごすことができると思うか

I 自宅で療養しながら最期まで過ごすことができるかについては、「難しいと思う」が47.7%で、「わからない」が35.5%。「できると思う」は11.3%にとどまっている。

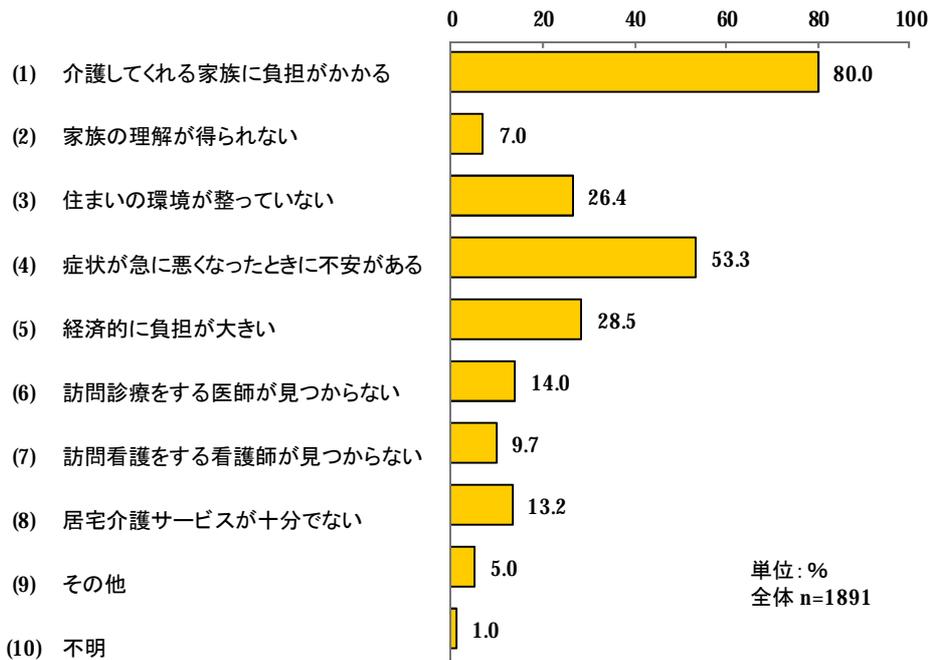


問34-1. あなたは自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができると思いますか。

		サンプル数	できると思う	難しいと思う	わからない	不明
全体		3966	11.3	47.7	35.5	5.5
年齢	65~69歳	1049	8.6	50.8	37.0	3.6
	70~74歳	927	10.2	50.9	34.1	4.7
	75~79歳	883	11.0	48.7	34.9	5.4
	80~84歳	583	12.7	42.4	38.6	6.3
	85~89歳	315	15.6	42.9	32.7	8.9
	90歳以上	151	21.2	32.5	35.8	10.6
世帯構成	一人暮らし	757	8.9	50.2	35.0	5.9
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1613	10.8	47.9	36.6	4.6
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	127	16.5	42.5	37.8	3.1
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	132	18.9	45.5	28.8	6.8
	子どもと同居(65歳未満含む)	1070	12.9	46.5	35.0	5.6
	親族又は友人などと同居(全員が65歳以上)	51	7.8	58.8	31.4	2.0
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	39	12.8	30.8	51.3	5.1
	施設に入所	80	1.3	53.8	30.0	15.0

問34-2.自宅で最期まで過ごすことが難しいと思う理由

- I 自宅療養で最期まで過ごすことができないと考える理由は、「介護してくれる家族に負担がかかる」が80.0%と最も多く、「症状が急に悪くなったときに不安がある」が53.3%と続く。
- I 世帯構成別にみると、一人暮らしの層で「症状が急に悪くなったときに不安がある」の回答が多い。

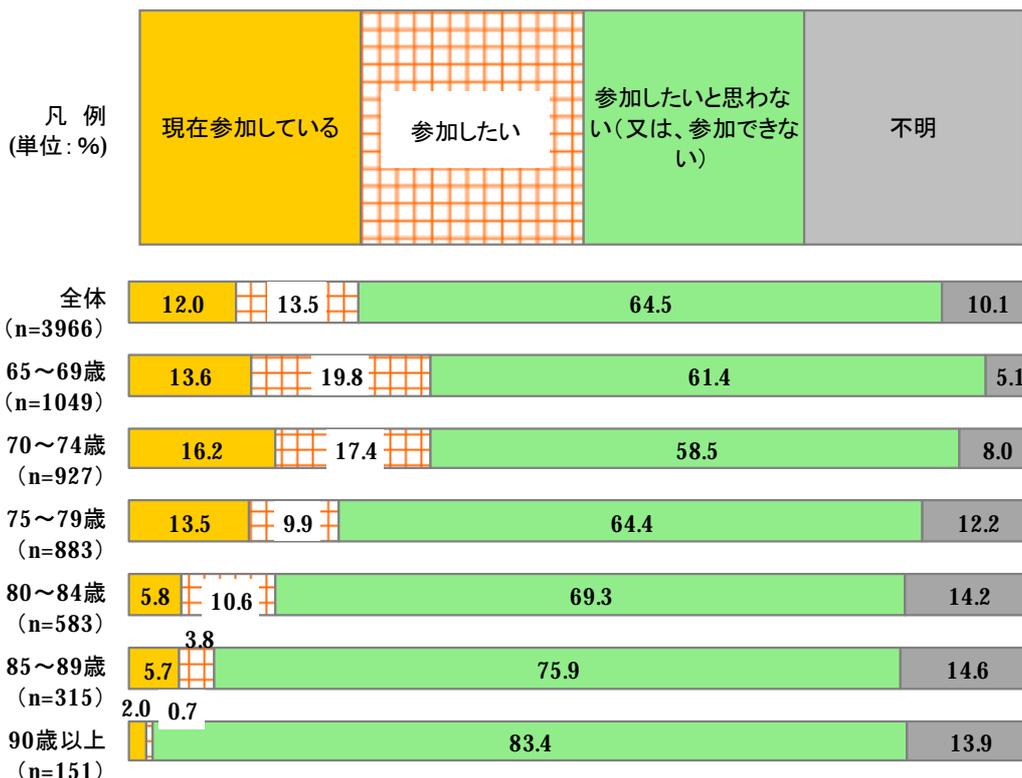


問34-2. あなたが、自宅で療養しながら、最期まで過ごすのは難しいと思う理由は何ですか。(複数回答)

		サンプル数	介護してくれる家族に負担がかかる	家族の理解が得られない	住まいの環境が整っていない	症状が急に悪くなったときに不安がある	経済的に負担が大きい	訪問診療をする医師が見つからない	訪問看護をする看護師が見つからない	居宅介護サービスが十分でない	その他	不明
全体		1891	80.0	7.0	26.4	53.3	28.5	14.0	9.7	13.2	5.0	1.0
世帯構成	一人暮らし	380	57.4	6.6	24.7	62.1	27.6	11.8	8.4	13.2	10.0	2.1
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	773	85.1	5.7	26.8	52.9	27.0	14.5	9.7	13.5	3.5	0.9
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	54	90.7	7.4	20.4	42.6	27.8	7.4	7.4	18.5	1.9	1.9
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	60	85.0	6.7	21.7	48.3	23.3	15.0	10.0	13.3	1.7	-
	子どもと同居(65歳未満含む)	498	89.2	8.6	29.1	51.4	33.1	15.5	10.6	11.8	2.6	0.4
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	30	70.0	3.3	16.7	46.7	36.7	13.3	10.0	20.0	13.3	-
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	12	83.3	16.7	25.0	58.3	33.3	25.0	25.0	16.7	8.3	-
	施設に入所	43	69.8	14.0	39.5	41.9	18.6	9.3	9.3	11.6	14.0	-

問35-1.ボランティア活動への参加意向

- I ボランティア活動についての考えは、「現在参加している」が12.0%で、「参加したい」が13.5%、「参加したいと思わないが」64.5%で最も多い。
- I 年齢別にみると、65～74歳では「現在参加している」、「参加したい」の合計が3割を超えるが、年齢が上がると減少していき、85歳以上では「参加したいと思わない」が7割を超える。

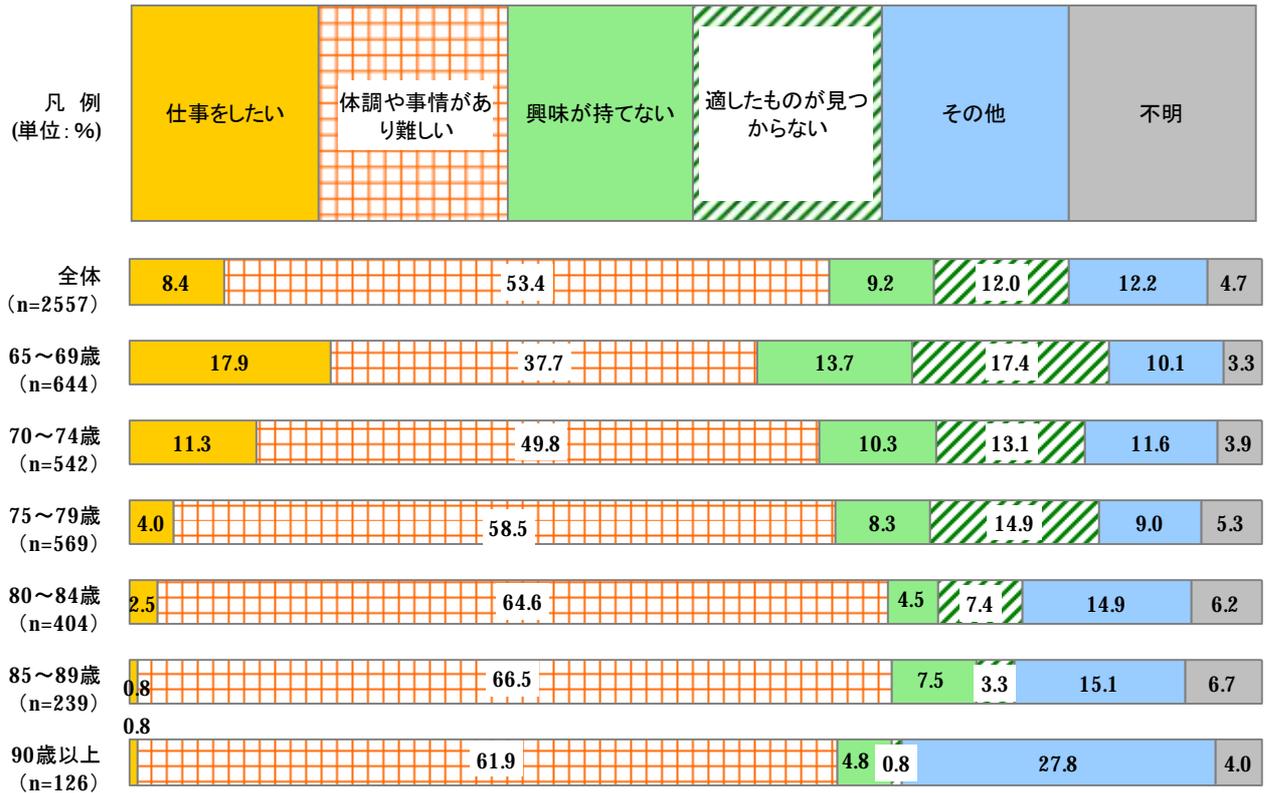


問35-1. あなたはボランティア活動に参加したいと思いませんか。

		サンプル数	現在参加している	参加したい	い(参加したいと思わない)	不明
全体		3966	12.0	13.5	64.5	10.1
性別	男性	1579	13.3	14.8	64.3	7.6
	女性	2205	11.2	12.7	65.6	10.5
年齢	65～69歳	1049	13.6	19.8	61.4	5.1
	70～74歳	927	16.2	17.4	58.5	8.0
	75～79歳	883	13.5	9.9	64.4	12.2
	80～84歳	583	5.8	10.6	69.3	14.2
	85～89歳	315	5.7	3.8	75.9	14.6
	90歳以上	151	2.0	0.7	83.4	13.9

問35-2.ボランティア活動に参加しない理由

- I ボランティア活動に参加しない理由は、「体調や事情があり難しい」が53.4%で最も多い。次いで、「適したものが見つからない」が12.0%となっている。
- I 年齢別にみると、65～69歳では「仕事をしたい」が17.9%だが、年齢が上がると減少していき、75歳以上では「体調や事情があり難しい」が5割を超える。

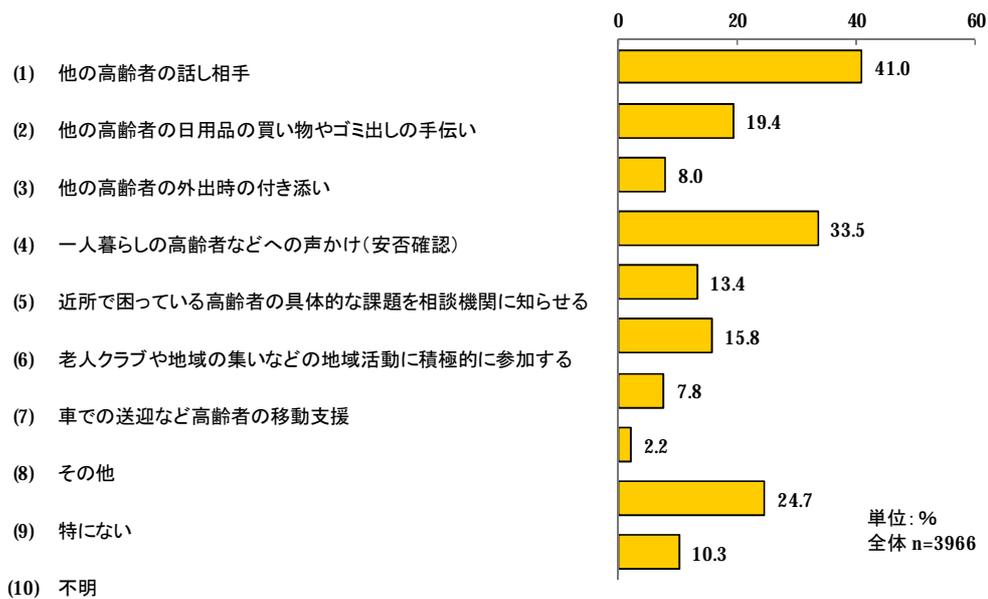


問35-2. ボランティア活動に参加しない理由は何ですか。

		サンプル数	仕事をしたい	体調や事情があり難しい	興味が持てない	適したものがみつからない	その他	不明
全体		2557	8.4	53.4	9.2	12.0	12.2	4.7
性別	男性	1016	13.2	46.6	13.8	13.5	8.5	4.5
	女性	1446	5.5	58.0	6.0	11.1	14.9	4.6
年齢	65～69歳	644	17.9	37.7	13.7	17.4	10.1	3.3
	70～74歳	542	11.3	49.8	10.3	13.1	11.6	3.9
	75～79歳	569	4.0	58.5	8.3	14.9	9.0	5.3
	80～84歳	404	2.5	64.6	4.5	7.4	14.9	6.2
	85～89歳	239	0.8	66.5	7.5	3.3	15.1	6.7
	90歳以上	126	0.8	61.9	4.8	0.8	27.8	4.0
住宅の種類	持ち家(一戸建て)	1589	8.6	51.7	9.1	13.2	12.6	4.8
	持ち家(共同住宅)	370	11.1	50.3	9.2	13.2	11.4	4.9
	借家(一戸建て)	45	-	68.9	6.7	11.1	6.7	6.7
	借家(民営の共同住宅)	220	8.6	56.4	10.9	11.8	7.3	5.0
	借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)	198	6.6	63.6	8.6	8.6	9.6	3.0
	有料・サ高住	31	-	74.2	9.7	-	9.7	6.5
	養護・軽費・グループホーム	13	-	69.2	15.4	7.7	7.7	-
	特養・老健・介護療養型医療施設	34	2.9	55.9	5.9	-	32.4	2.9
	その他	32	6.3	43.8	15.6	-	31.3	3.1

問36.高齢者の支え合いとしてあなたができること

- I 地域で高齢者が支え合うことを目指す場合に、自分ができると思うことは、「他の高齢者の話し相手」が41.0%、次に「一人暮らしの高齢者などへの声かけ(安否確認)」が33.5%と続く。
- I 性別でみると、「他の高齢者の話し相手」や「一人暮らしの高齢者などへの声かけ(安否確認)」は女性の方が高い。「車での送迎など高齢者の移動支援」については男性の方が高い。

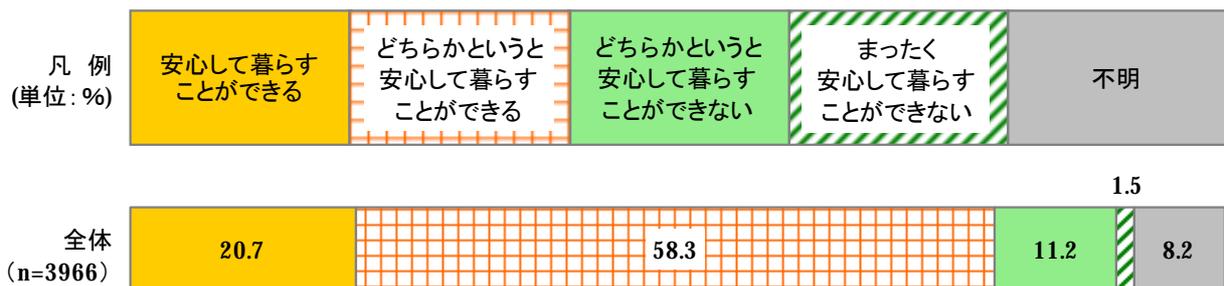


問36. 地域で高齢者が互いに支え合うことを目指すとすれば、あなたは、何ができますか。(複数回答)

性別×年齢		サンプル数	他の高齢者の話し相手	他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い	他の高齢者の外出時の付き添い	一人暮らしの高齢者などへの声かけ(安否確認)	近所で困っている高齢者の具体的な課題を相談機関に知らせる	老人クラブや地域の集いなどの地域活動に積極的に参加する	車での送迎など高齢者の移動支援	その他	特にない	不明
全体		3966	41.0	19.4	8.0	33.5	13.4	15.8	7.8	2.2	24.7	10.3
男性	男性 計	1579	32.9	16.5	7.4	30.0	13.0	14.9	13.3	1.9	28.8	9.3
	65~69歳	466	35.0	21.9	11.4	38.2	18.0	13.1	18.5	1.3	25.8	4.9
	70~74歳	386	31.6	21.8	7.0	30.6	11.9	16.1	15.0	0.8	28.0	7.8
	75~79歳	357	31.7	13.4	7.3	26.9	12.6	17.4	12.9	2.2	30.0	10.1
	80~84歳	222	34.7	8.1	4.1	22.1	9.5	14.9	6.8	2.7	30.2	17.1
	85~89歳	111	36.0	7.2	1.8	24.3	8.1	15.3	2.7	5.4	29.7	13.5
	90歳以上	27	14.8	3.7	-	18.5	-	-	-	-	3.7	51.9
女性	女性 計	2205	47.8	22.0	8.8	36.7	14.0	16.5	4.2	2.4	21.6	10.2
	65~69歳	567	53.8	34.7	15.2	46.9	22.6	14.8	8.5	1.1	15.0	5.3
	70~74歳	519	51.4	29.1	13.1	46.4	17.0	16.0	3.1	3.5	14.5	9.4
	75~79歳	484	46.3	17.8	5.6	37.0	11.2	22.5	3.5	1.7	20.9	13.0
	80~84歳	331	46.2	10.6	2.1	25.7	7.9	16.0	2.1	3.0	25.7	14.2
	85~89歳	182	39.0	5.5	2.2	13.2	4.4	14.3	1.6	3.8	32.4	14.8
	90歳以上	105	23.8	2.9	1.0	6.7	2.9	5.7	1.0	2.9	61.9	8.6

問37.住んでいる地域での暮らしの安心

- I 地域で安心して暮らすことができると感じるかどうかは、「どちらかという安心して暮らすことができる」が58.3%で最も高い。「安心して暮らすことができる」の20.7%を加えると79.0%になる。
- I 暮らし向きにゆとりのある人の方が、「安心して暮らすことができる」という回答が多い。



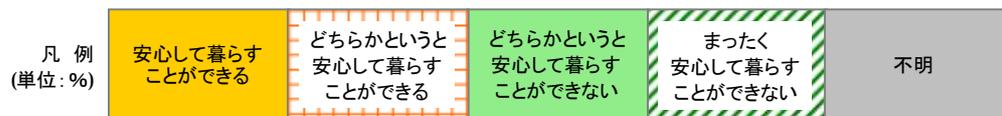
問37. あなたがお住まいの地域で、安心して暮らすことができると感じますか。

		サンプル数	安心して暮らすことができる	どちらかという安心して暮らすことができる	どちらかという安心して暮らすことができない	まったく安心して暮らすことができない	不明
全体		3966	20.7	58.3	11.2	1.5	8.2
年齢	65～69歳	1049	17.5	62.3	12.2	1.9	6.0
	70～74歳	927	16.7	62.4	13.1	1.4	6.5
	75～79歳	883	20.3	56.6	12.7	1.0	9.4
	80～84歳	583	25.2	54.4	7.5	1.2	11.7
	85～89歳	315	32.1	48.9	9.5	1.3	8.3
	90歳以上	151	28.5	53.0	4.6	2.6	11.3
暮らし向き	たいへんゆとりがある	127	44.1	44.9	5.5	-	5.5
	ややゆとりがある	502	23.9	63.3	7.6	0.4	4.8
	普通である	2364	20.5	62.3	9.5	1.0	6.7
	やや苦しい	578	15.7	54.0	20.2	2.8	7.3
	たいへん苦しい	176	13.1	44.9	25.6	7.4	9.1

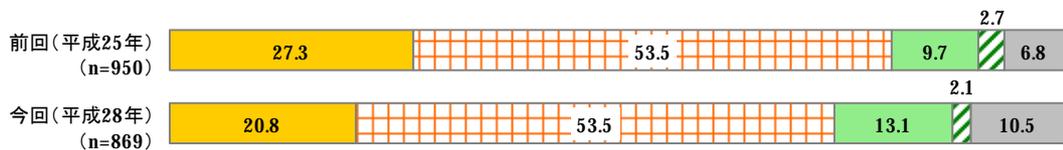
問37.住んでいる地域での暮らしの安心【経年比較】

I 地域の暮らしの安心感は、要介護・要支援認定を受けている層・受けていない層とも、前回よりも低下している。

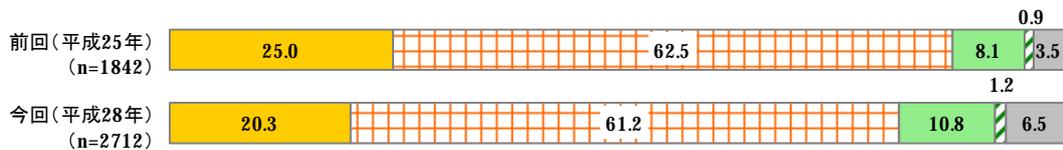
問37. あなたがお住まいの地域で、安心して暮らすことができますと感じますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

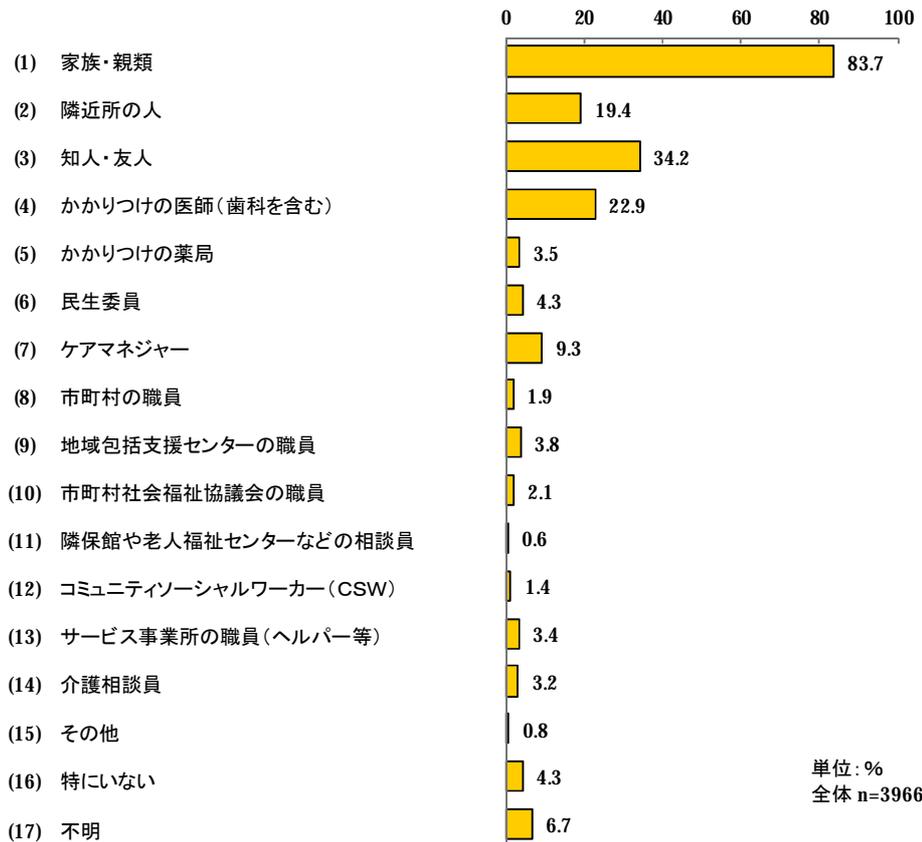


【要介護・要支援認定を受けていない】



問38.日常的に相談できる相手

- Ⅰ 日常的な相談相手は、「家族・親類」が83.7%と高くなっており、「知人・友人」が34.2%、「かかりつけの医師(歯科を含む)」が22.9%と続く。
- Ⅱ 年齢別にみると、年齢が上がると「知人・友人」のポイントは低くなり、「ケアマネジャー」が高くなる。

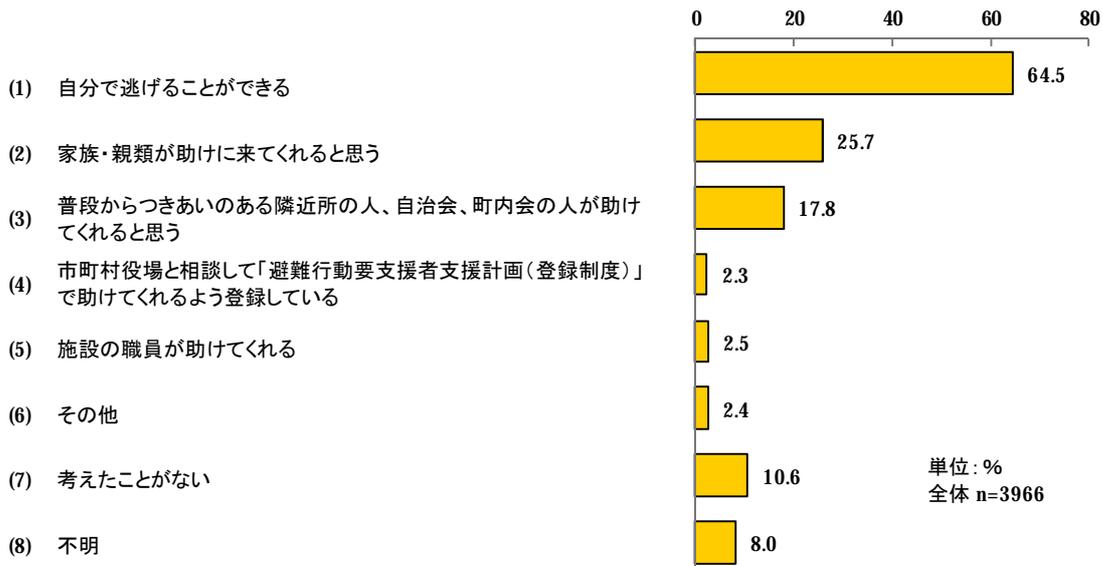


問38. 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような人ですか。(複数回答)

		サンプル数	家族・親類	隣近所の人	知人・友人	かかりつけの医師(歯科を含む)	かかりつけの薬局	民生委員	ケアマネジャー	市町村の職員	地域包括支援センターの職員	市町村社会福祉協議会の職員	隣保館や老人福祉センターなどの相談員	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)	サービス事業所の職員(ヘルパー等)	介護相談員	その他	特にいない	不明
全体		3966	83.7	19.4	34.2	22.9	3.5	4.3	9.3	1.9	3.8	2.1	0.6	1.4	3.4	3.2	0.8	4.3	6.7
性別	男性	1579	82.1	15.0	28.7	23.4	3.9	4.5	8.0	2.6	3.4	2.7	0.9	1.6	2.5	3.2	0.7	6.0	7.5
	女性	2205	85.7	22.6	39.0	23.1	3.2	4.2	10.5	1.5	4.2	1.7	0.3	1.3	3.9	2.9	1.0	2.9	5.6
年齢	65~69歳	1049	86.2	17.3	47.2	18.2	2.4	3.1	3.5	2.0	1.8	1.7	0.4	1.0	1.4	2.0	0.3	4.5	4.8
	70~74歳	927	83.8	20.1	37.8	24.9	3.5	4.4	6.0	2.2	3.8	2.2	0.5	1.1	2.4	2.2	0.4	4.3	6.9
	75~79歳	883	83.2	22.2	32.8	24.9	4.1	4.2	9.1	1.7	4.5	2.0	0.1	1.8	2.7	3.5	1.0	4.3	6.7
	80~84歳	583	82.2	20.8	23.2	24.2	3.6	6.7	14.2	2.1	6.3	1.9	0.9	1.9	4.5	3.8	1.0	4.8	7.7
	85~89歳	315	81.6	19.0	19.0	25.4	5.7	5.7	21.3	1.6	4.4	2.2	1.6	1.9	7.6	6.0	2.5	3.5	8.9
	90歳以上	151	82.8	9.9	6.6	19.9	2.6	1.3	25.8	1.3	2.6	3.3	0.7	0.7	12.6	6.0	2.0	1.3	7.9

問39.自然災害時の避難

- I 自然災害時の避難所などへの避難方法は、「自分で逃げる事ができる」が64.5%と圧倒的に多く、「家族・親類が助けに来てくれると思う」が25.7%、「普段からつきあいのある隣近所の人、自治会、町内会の人」が17.8%の順となっている。
- I 年齢別にみると、高齢になるほど「自分で逃げる事ができる」が減少し、「家族・親類が助けに来てくれると思う」が増加する。



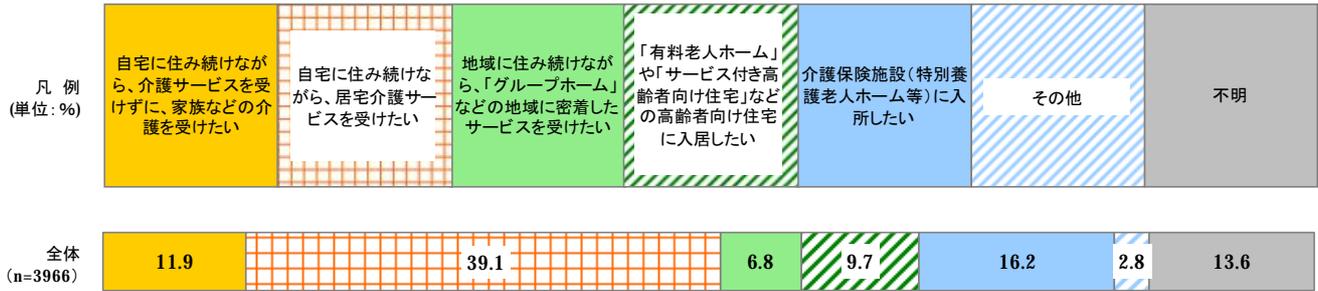
問39. 地震や台風などの自然災害があったとき、避難所などへどう逃げるか、考えていますか。(複数回答)

		サンプル数	自分で逃げる事ができる	家族・親類が助けに来てくれると思う	自治会、町内会の人	普段からつきあいのある隣近所の人、市町村役場と相談して「避難行動要支援者支援計画(登録制度)」で助けてくれるよう登録している	施設の職員が助けてくれる	その他	考えたことがない	不明
全体		3966	64.5	25.7	17.8	2.3	2.5	2.4	10.6	8.0
性別	男性	1579	70.4	18.6	14.7	2.2	1.8	2.3	11.0	8.3
	女性	2205	62.0	31.0	19.5	2.2	2.7	2.5	9.9	7.1
年齢	65～69歳	1049	80.0	17.1	14.2	1.7	0.6	2.0	9.7	5.1
	70～74歳	927	72.3	25.0	18.1	1.8	0.5	1.8	9.7	7.7
	75～79歳	883	64.8	24.0	20.0	2.9	1.5	3.1	10.0	8.2
	80～84歳	583	52.0	33.4	20.8	2.7	3.8	2.2	10.8	10.6
	85～89歳	315	39.4	37.8	20.0	2.9	7.3	4.1	13.0	11.1
	90歳以上	151	15.2	45.7	9.9	2.6	16.6	3.3	18.5	9.3
世帯構成	一人暮らし	757	59.6	23.2	25.4	3.0	3.0	2.4	12.7	8.1
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1613	71.0	22.6	19.0	2.5	0.5	2.5	9.1	7.7
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	127	75.6	15.0	9.4	-	-	0.8	14.2	3.9
	子ども同居(世帯全員が65歳以上)	132	40.9	31.1	11.4	3.8	-	0.8	14.4	15.2
	子ども同居(65歳未満含む)	1070	65.7	35.0	13.9	2.1	0.5	2.1	10.6	6.3
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	51	62.7	13.7	9.8	2.0	-	2.0	13.7	9.8
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	39	64.1	23.1	7.7	-	-	7.7	12.8	7.7
	施設に入所	80	6.3	11.3	2.5	-	66.3	5.0	6.3	15.0

# 今後の暮らし 12.希望する暮らし方

## 問40.希望する暮らし方について

I 自分で身の回りのことができなくなった時の希望する暮らし方については、「自宅に住み続けながら、居宅介護サービスを受けたい」が39.1%で最も多く、「介護保険施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい」が16.2%、「自宅に住み続けながら、介護サービスを受けずに、家族などの介護を受けたい」が11.9%と続いている。



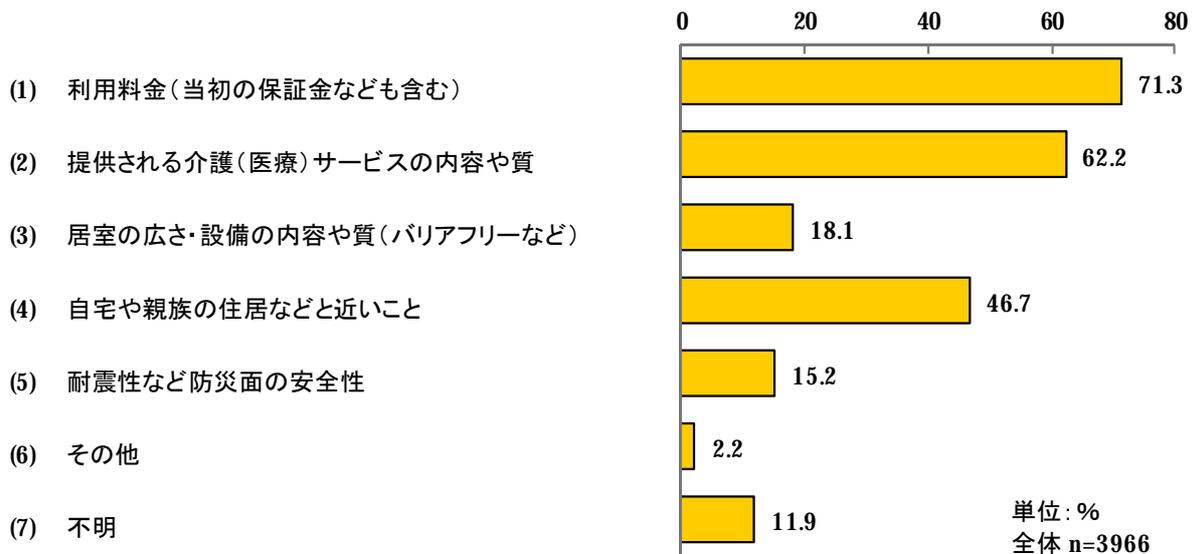
## 問40. あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合に、どのような暮らしをおくりたいですか。

		サンプル数	自宅に住み続けながら、介護サービスを受けずに、家族などの介護を受けたい	自宅に住み続けながら、居宅介護サービスを受けたい	地域に住み続けながら、「グループホーム」などの地域に密着したサービスを受けたい	「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」などの高齢者向け住宅に入居したい	介護保険施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい	その他	不明
全体		3966	11.9	39.1	6.8	9.7	16.2	2.8	13.6
性別×年齢	男性 計	1579	15.5	39.8	6.3	8.2	15.2	2.6	12.5
	65~69歳	466	12.9	41.8	7.1	10.1	16.1	3.2	8.8
	70~74歳	386	15.0	40.2	7.5	7.8	18.1	2.6	8.8
	75~79歳	357	15.4	39.8	7.3	6.2	13.2	2.0	16.2
	80~84歳	222	18.5	40.5	2.7	6.8	11.3	2.7	17.6
	85~89歳	111	21.6	29.7	2.7	9.9	16.2	1.8	18.0
	90歳以上	27	18.5	40.7	3.7	11.1	18.5	3.7	3.7
	女性 計	2205	9.0	39.3	7.3	11.0	16.7	3.0	13.8
	65~69歳	567	6.7	39.2	10.4	13.4	18.2	2.8	9.3
	70~74歳	519	6.7	40.5	6.6	10.2	18.7	2.7	14.6
75~79歳	484	11.6	40.5	7.6	10.7	14.5	2.1	13.0	
80~84歳	331	9.1	38.1	5.1	9.4	14.5	3.0	20.8	
85~89歳	182	10.4	35.7	4.9	8.8	18.7	4.4	17.0	
90歳以上	105	18.1	37.1	1.9	10.5	14.3	7.6	10.5	
要介護度	要支援1	218	11.0	38.5	5.5	6.4	14.2	1.8	22.5
	要支援2	172	11.6	40.7	4.1	8.1	15.7	2.9	16.9
	要介護1	132	13.6	34.1	6.1	9.1	11.4	9.1	16.7
	要介護2	138	12.3	43.5	5.1	8.0	15.2	2.9	13.0
	要介護3	95	10.5	35.8	5.3	10.5	25.3	6.3	6.3
	要介護4	52	7.7	30.8	-	9.6	21.2	7.7	23.1
	要介護5	62	9.7	21.0	3.2	3.2	30.6	8.1	24.2
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	11.9	40.3	7.2	10.8	16.3	2.4	11.2

# 今後の暮らし 13.施設入所

## 問41.施設入所にあたって重視する点

I 施設入所にあたって重視する事項は、「利用料金」(71.3%)、「提供される介護(医療)サービスの内容や質」(62.2%)、「自宅や親族の住居などと近いこと」(46.7%)の順である。



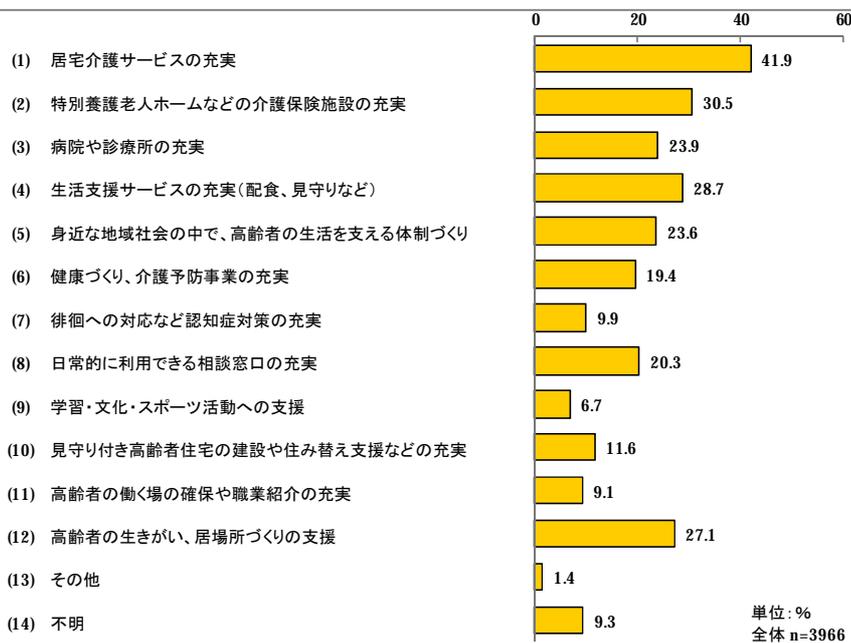
問41. あなたは、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・有料老人ホームなどの施設等に入所する場合、どのような事項を重視されますか。(複数回答)

		サンプル数	利用料金(当初の保証金なども含む)	提供される介護(医療)サービスの内容や質	居室の広さ・設備の内容や質(バリアフリーなど)	自宅や親族の住居などと近いこと	耐震性など防災面の安全性	その他	不明
全体		3966	71.3	62.2	18.1	46.7	15.2	2.2	11.9
年齢	65~69歳	1049	78.7	70.0	24.0	46.4	14.4	2.5	6.3
	70~74歳	927	75.8	64.3	15.9	47.9	15.2	2.0	8.8
	75~79歳	883	70.0	58.3	17.1	45.9	15.4	2.0	14.3
	80~84歳	583	60.5	56.6	13.0	45.6	17.7	2.6	18.2
	85~89歳	315	60.3	55.9	15.2	47.0	16.2	2.5	18.1
	90歳以上	151	70.2	61.6	21.9	53.0	9.9	1.3	11.3

# 今後の施策 14.重要な施策

## 問42.今後、重要と思う施策

- I 高齢者が生き生きと暮らし続けられる社会を築くために重要だと思う施策は、「居宅介護サービスの充実」(41.9%)、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」(30.5%)、「生活支援サービスの充実」(28.7%)の順である。
- I 年齢別にみると、65～74歳では「高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実」「高齢者の生きがい、居場所づくりの支援」が他に比べて高くなっている。
- I 要介護度別にみると、要介護3以上の層で「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」が約半数にのぼる。



問42. あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策が重要と思いますか。(複数回答)

	サンプル数	居宅介護サービスの充実	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実	病院や診療所の充実	生活支援サービスの充実(配食、見守りなど)	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり	健康づくり、介護予防事業の充実	徘徊への対応など認知症対策の充実	日常的に利用できる相談窓口の充実	学習・文化・スポーツ活動への支援	見守り付き高齢者住宅の建設や住み替え支援などの充実	高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実	高齢者の生きがい、居場所づくりの支援	その他	不明	
全体	3966	41.9	30.5	23.9	28.7	23.6	19.4	9.9	20.3	6.7	11.6	9.1	27.1	1.4	9.3	
年齢	65～69歳	1049	37.3	29.3	21.1	30.7	24.3	21.5	10.7	21.9	10.0	14.0	15.0	32.1	1.0	6.9
	70～74歳	927	42.3	31.4	22.3	31.3	26.1	21.1	9.7	18.6	6.8	11.4	11.7	29.6	1.4	6.9
	75～79歳	883	45.9	28.2	23.2	30.0	23.3	18.6	9.3	20.2	6.2	12.2	6.5	25.4	1.4	9.3
	80～84歳	583	44.3	30.2	30.5	22.0	21.4	16.3	8.9	20.8	4.6	8.4	4.8	22.0	1.7	14.1
	85～89歳	315	43.2	35.2	27.0	24.1	21.9	14.3	10.5	20.6	2.9	9.2	1.0	22.5	2.2	12.4
	90歳以上	151	40.4	40.4	29.1	25.8	22.5	20.5	13.2	19.2	3.3	9.9	4.0	20.5	2.6	8.6
要介護度	要支援1	218	42.2	32.1	21.1	23.4	22.9	16.1	8.3	21.6	3.7	12.8	2.3	23.4	1.4	16.1
	要支援2	172	44.8	27.9	30.2	29.7	25.0	15.7	8.7	18.0	3.5	15.7	2.9	26.7	2.3	7.6
	要介護1	132	40.2	27.3	32.6	34.1	14.4	15.2	16.7	16.7	2.3	15.9	5.3	19.7	3.8	11.4
	要介護2	138	38.4	37.7	23.9	31.9	18.1	9.4	18.8	15.2	2.9	15.2	2.9	23.2	2.2	10.9
	要介護3	95	34.7	48.4	28.4	23.2	20.0	12.6	11.6	20.0	1.1	13.7	3.2	23.2	1.1	11.6
	要介護4	52	46.2	46.2	32.7	23.1	11.5	11.5	15.4	11.5	3.8	7.7	7.7	17.3	5.8	15.4
	要介護5	62	27.4	56.5	25.8	19.4	22.6	11.3	9.7	12.9	1.6	11.3	4.8	14.5	1.6	21.0
	要介護・要支援認定を受けていない	2712	42.9	29.5	22.8	29.8	25.3	21.9	9.5	20.9	8.1	11.8	11.3	28.2	1.2	7.2